

骨と狼



骨と

狼

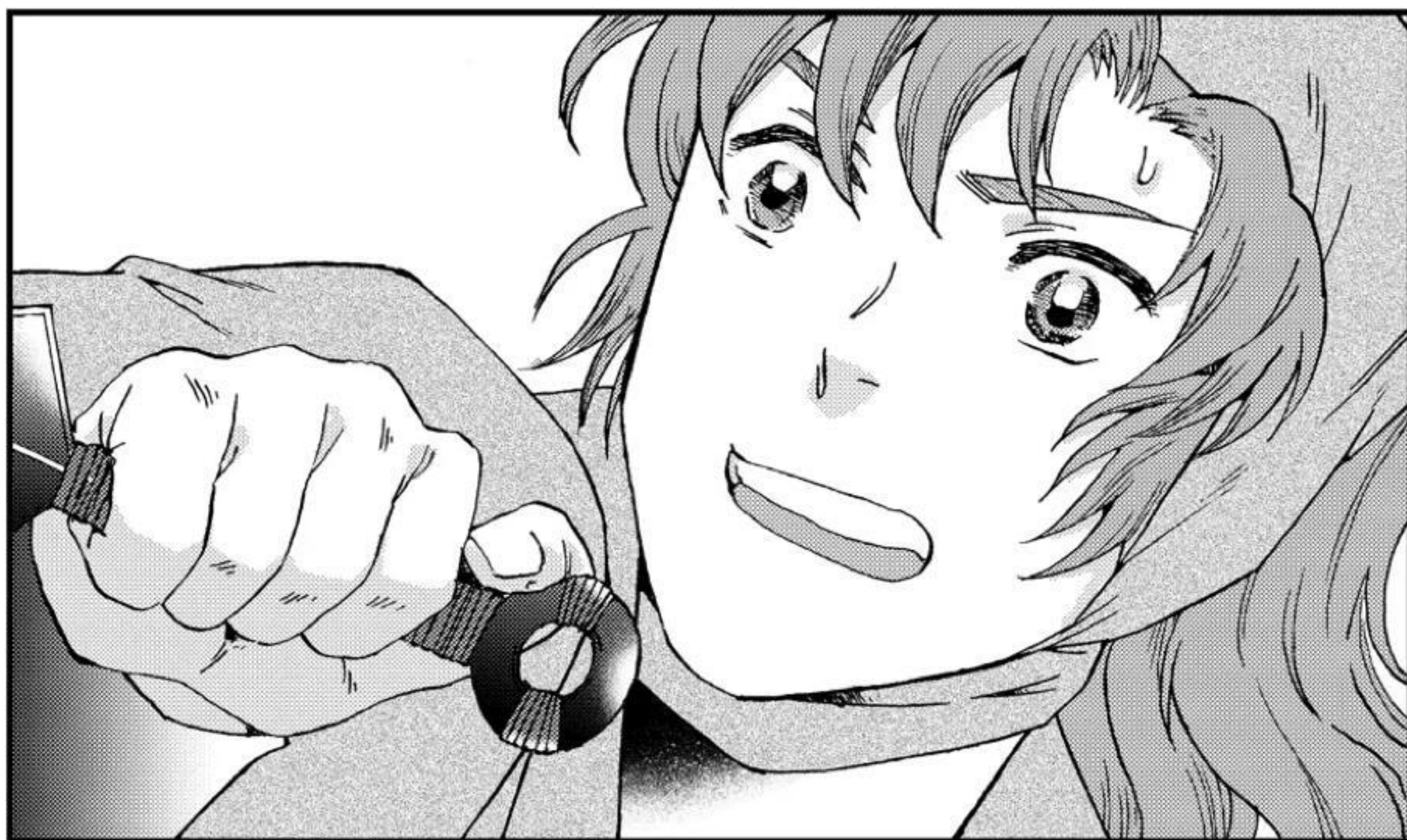
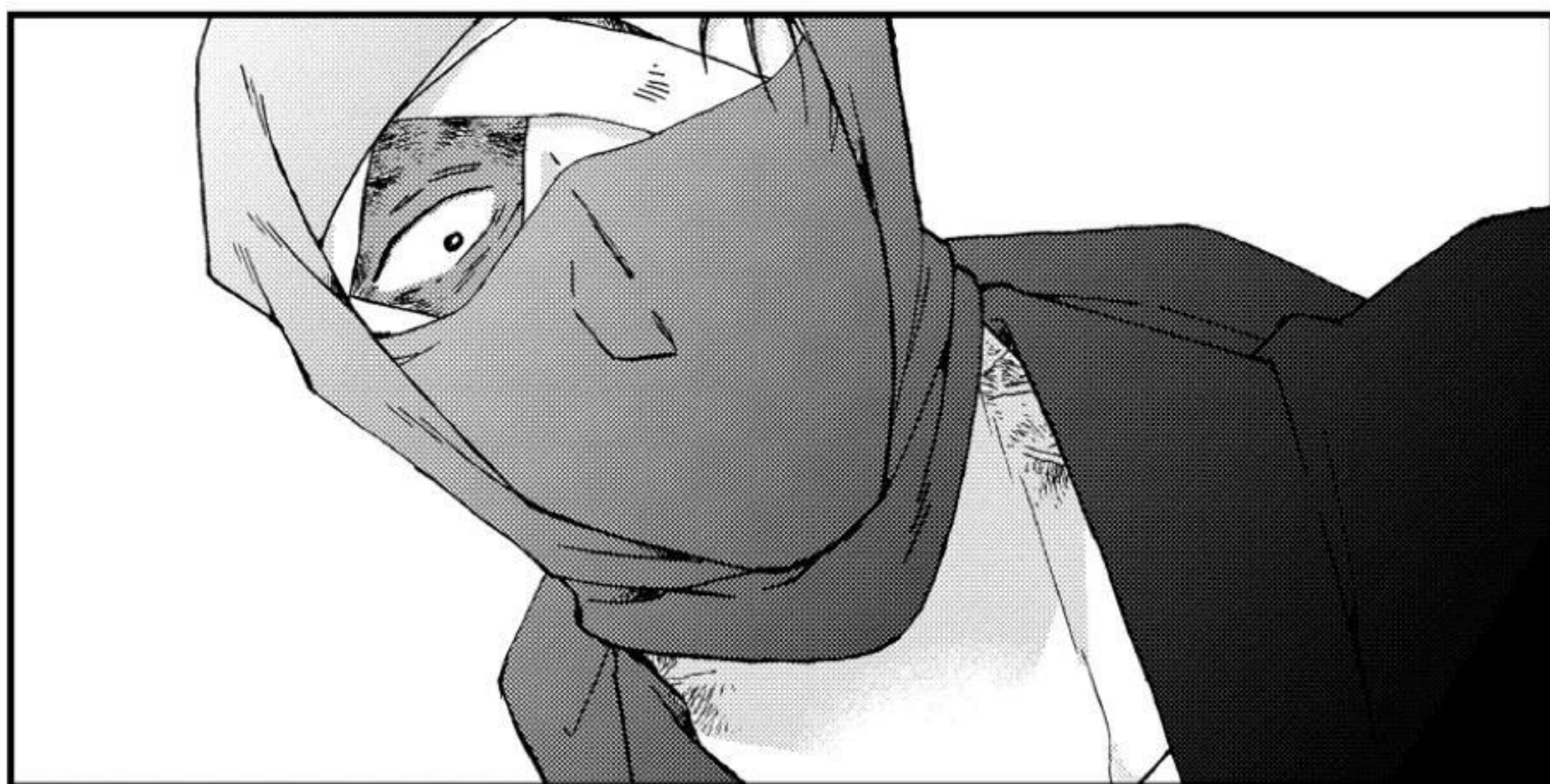
前編

こちらは、個人が趣味で描いたものです。
公式とは、一切関係ありません。
成人向け表現がありますので、未成年の方は
閲覧しないでください。
同人活動、同人誌にご理解いただけない方の
閲覧はお控えください。
作中に出てくる設定は、ほぼ捏造設定で、公式の
ものとは異なります。

無断転載、複製、転用、web上への無断アップロード、
ネットオークション及びフリマアプリへの出品等
固く禁止します。



18歳未満の
購入・閲覧禁止















五年生から
六年生にかけての
一年間

忍術学園では
非常に重要な
事を教えますので

それが
全て抜け落ちて
いるとなると...



不運だなあ...



ただ
ひとつ



我々も
何か打つ手
がないか
調べたので
すが...

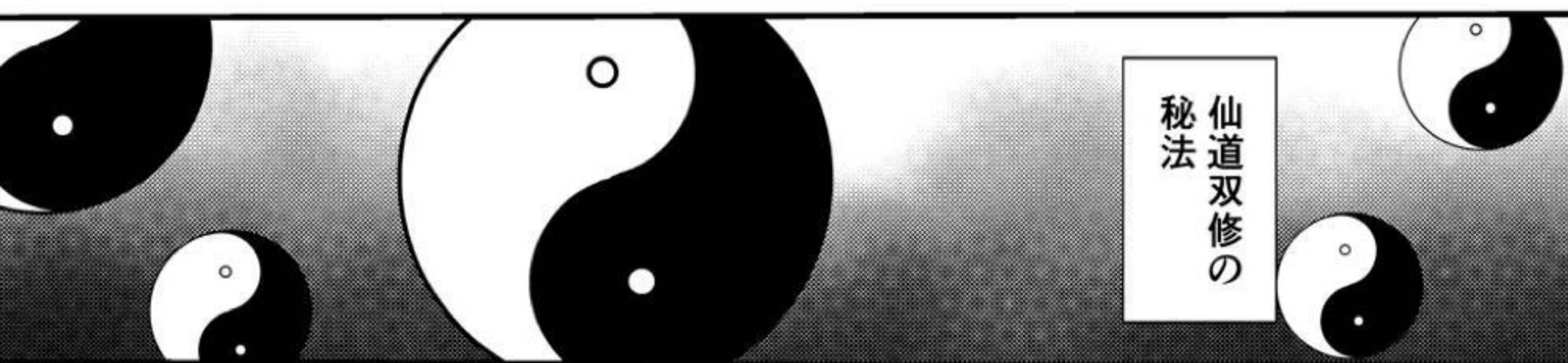
仙道双修の
秘法を行えば
もしや何とか
なるのではと

—

ちよつと
待ってください!!









我々忍びの
元祖は秦の時代
徐福と共に
海を渡って
やってきた

男女三千人の
中の者達という節も
あるほど
結びつきは
深い――



仙道双術の
秘法とは

房中術を
仙道に取り入れた
交合によって
肉体の長寿を求める
方法の一つである



私達も
何も考えなしに
雑渡殿にお願い
する訳では
ありませんよ



私とて
他の者にやらせ
るつもりは
毛頭ないが
こう当たり前に
言われるとは



そもそも
仙道双修の秘法
とは
男女：

夫婦間で行われる
事がほとんどで
夫側は交接の技巧が
ないと務まらない
のです

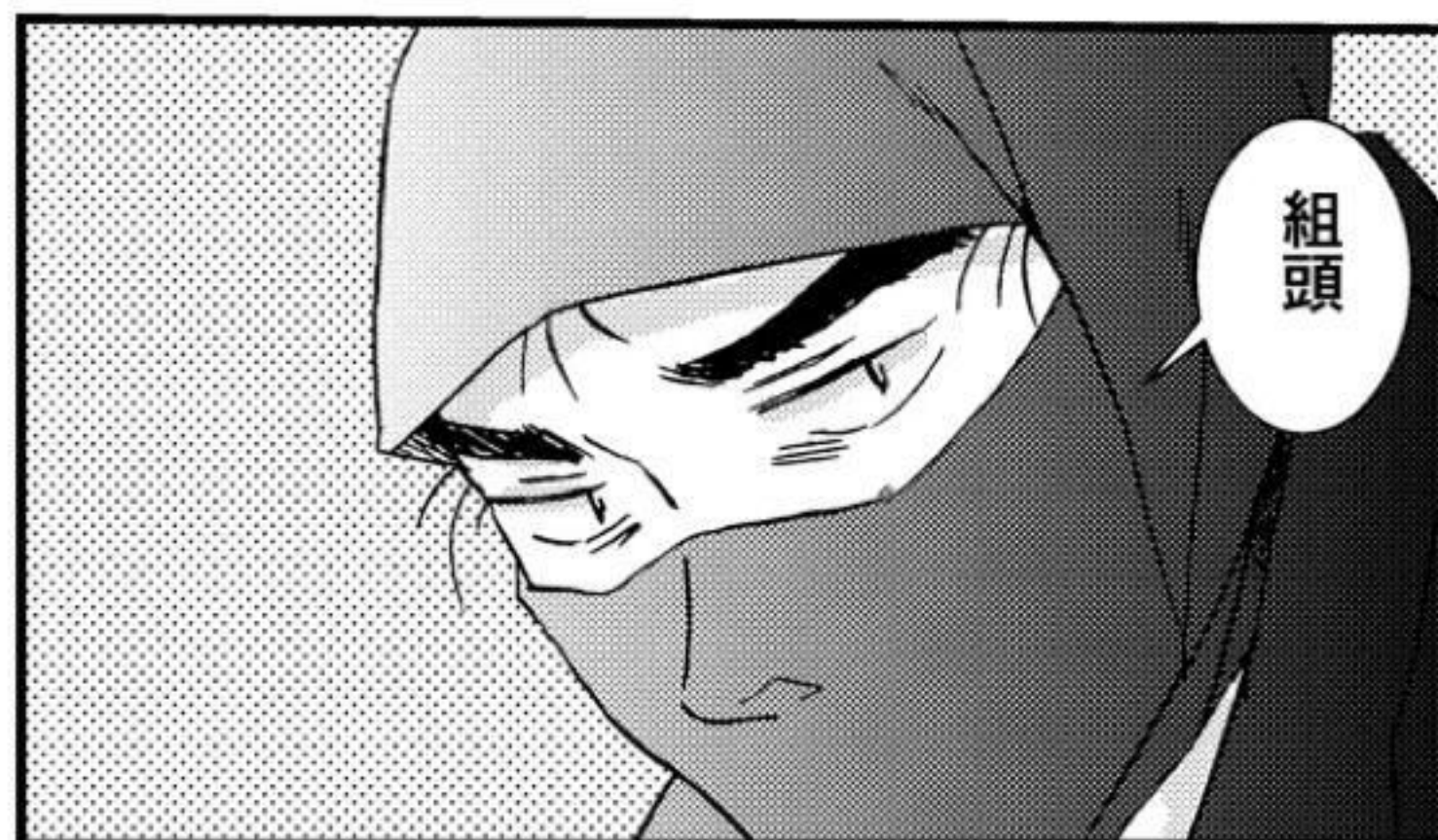


そんなふう
に持ち上げられても
伊作くん本人が
了承しないと
元も子もあり
ませんよ



タソガレドキ
忍者隊の
組頭である
あなたであれば
まさに適役かと



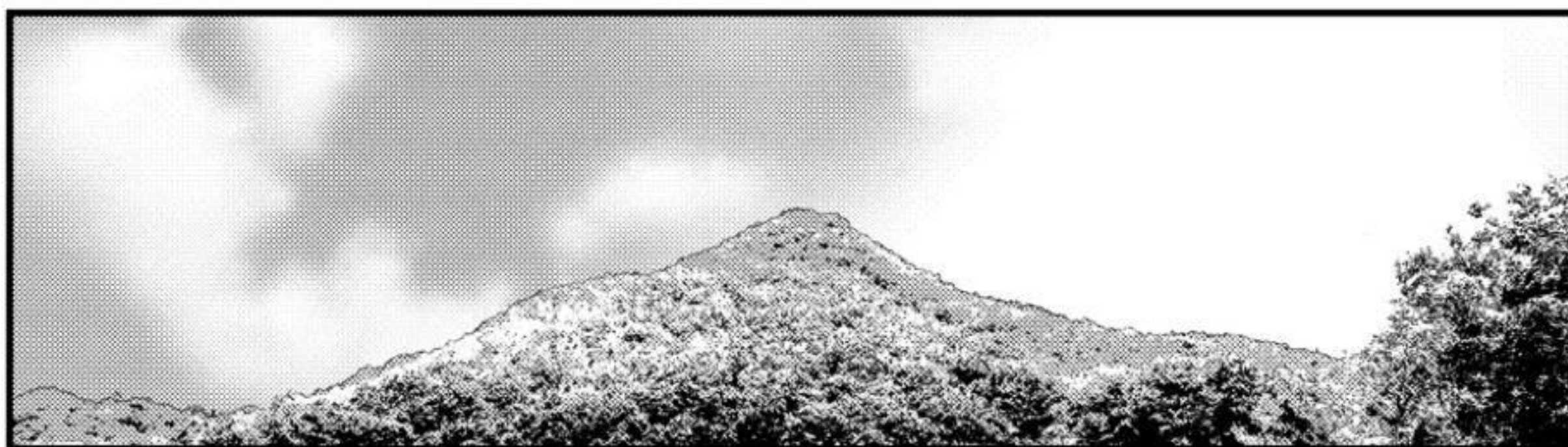












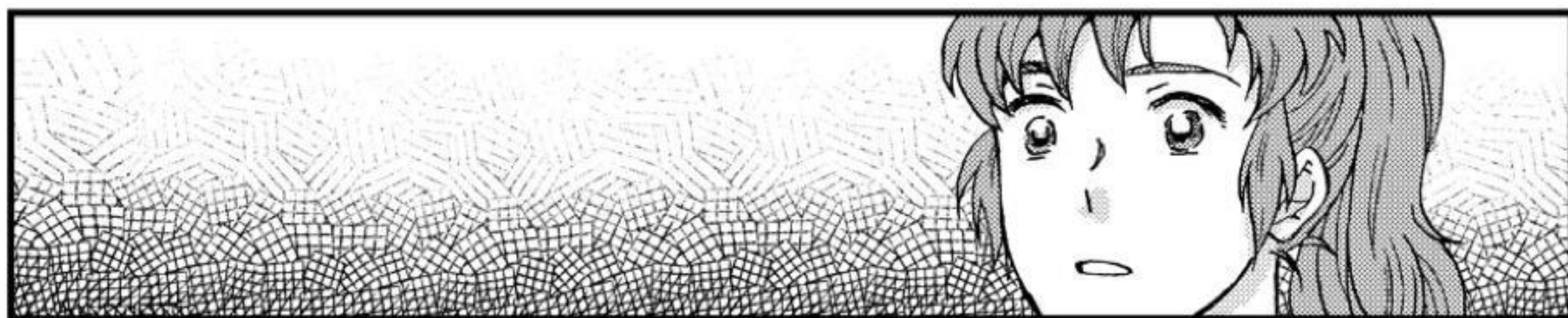
あの…

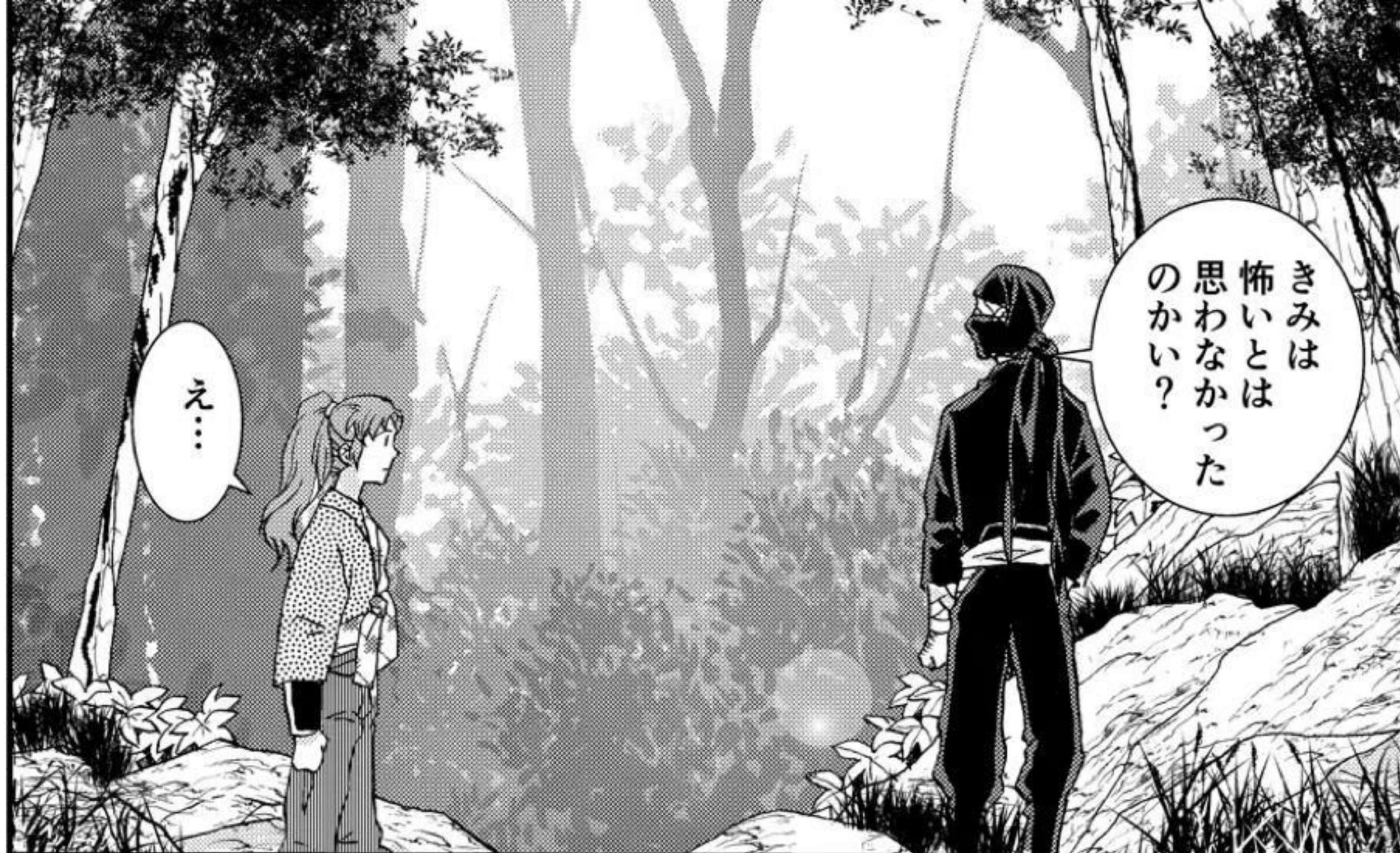


本当だから
学園長や
新野先生は
こうしてきみを
私に預けたん
だと思うけど



ほんとあなたは
そういう関係
だったと聞かされ
たんですけど
本当なんですか？





え…

きみは
怖いとは
思わなかつた
のかい？



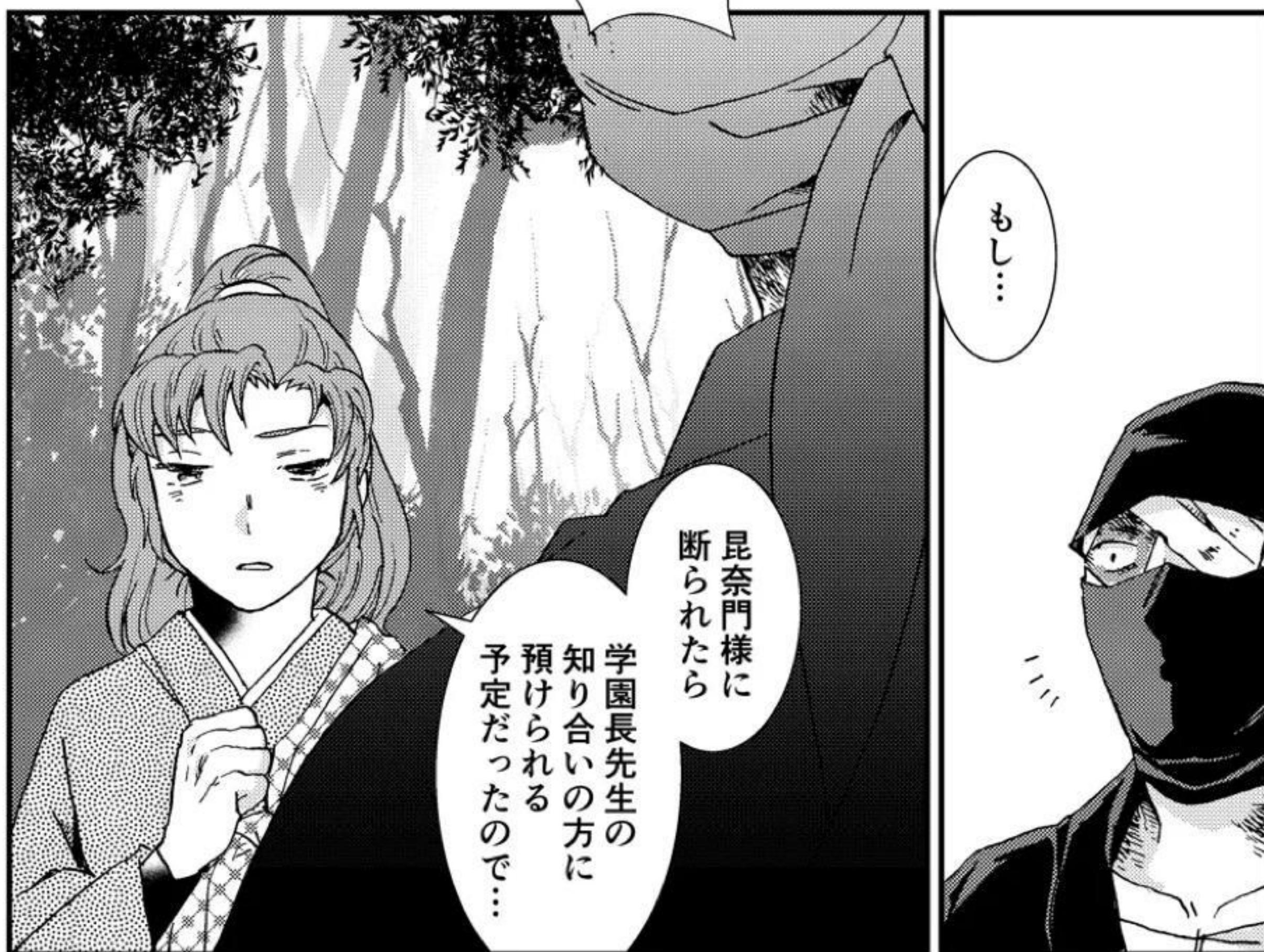
今は表だって
争ってはいないが
元々は我々
タソガレドキと
忍術学園とは
敵対していた



その忍者隊の
組頭は
包帯姿の大男で

そんな男に
きみは…









伊作くん





ただの
忍たま六年生が
百人隊長の
首領である人を
そんな…



いいんだよ



そうですか…

では
そのように
…



私はきみに
そう呼ばれるのが
好きだから



ぼく
人を好きに
なった事が
なくて

すいません

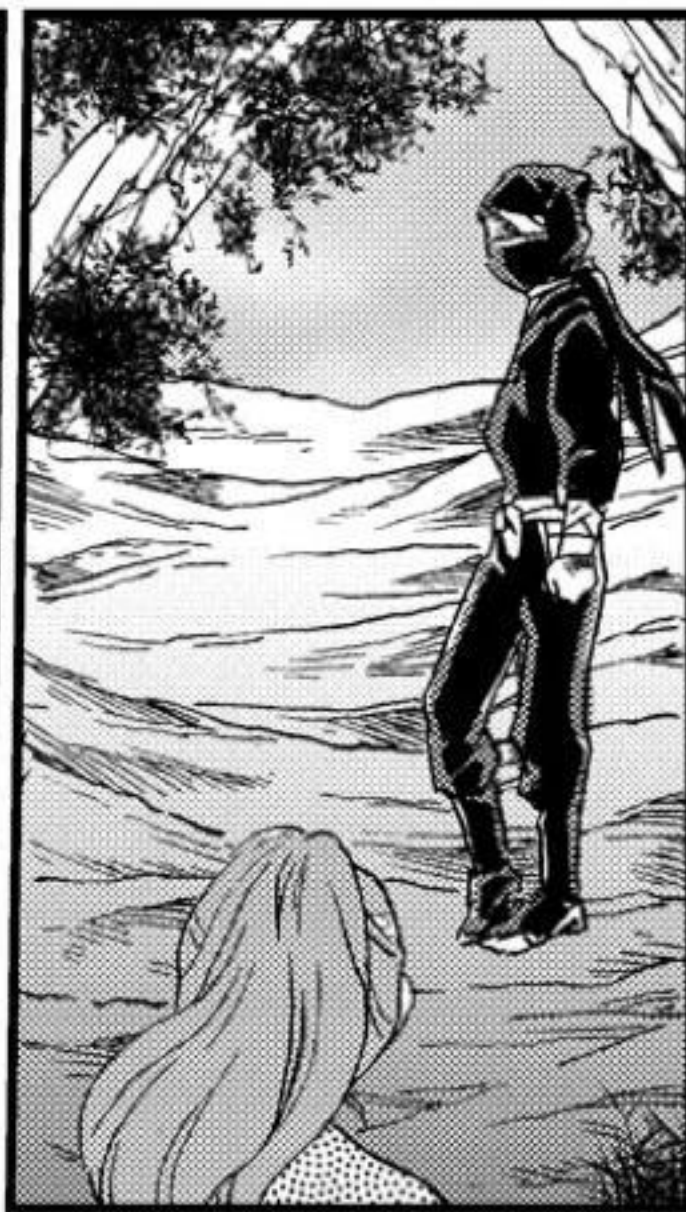


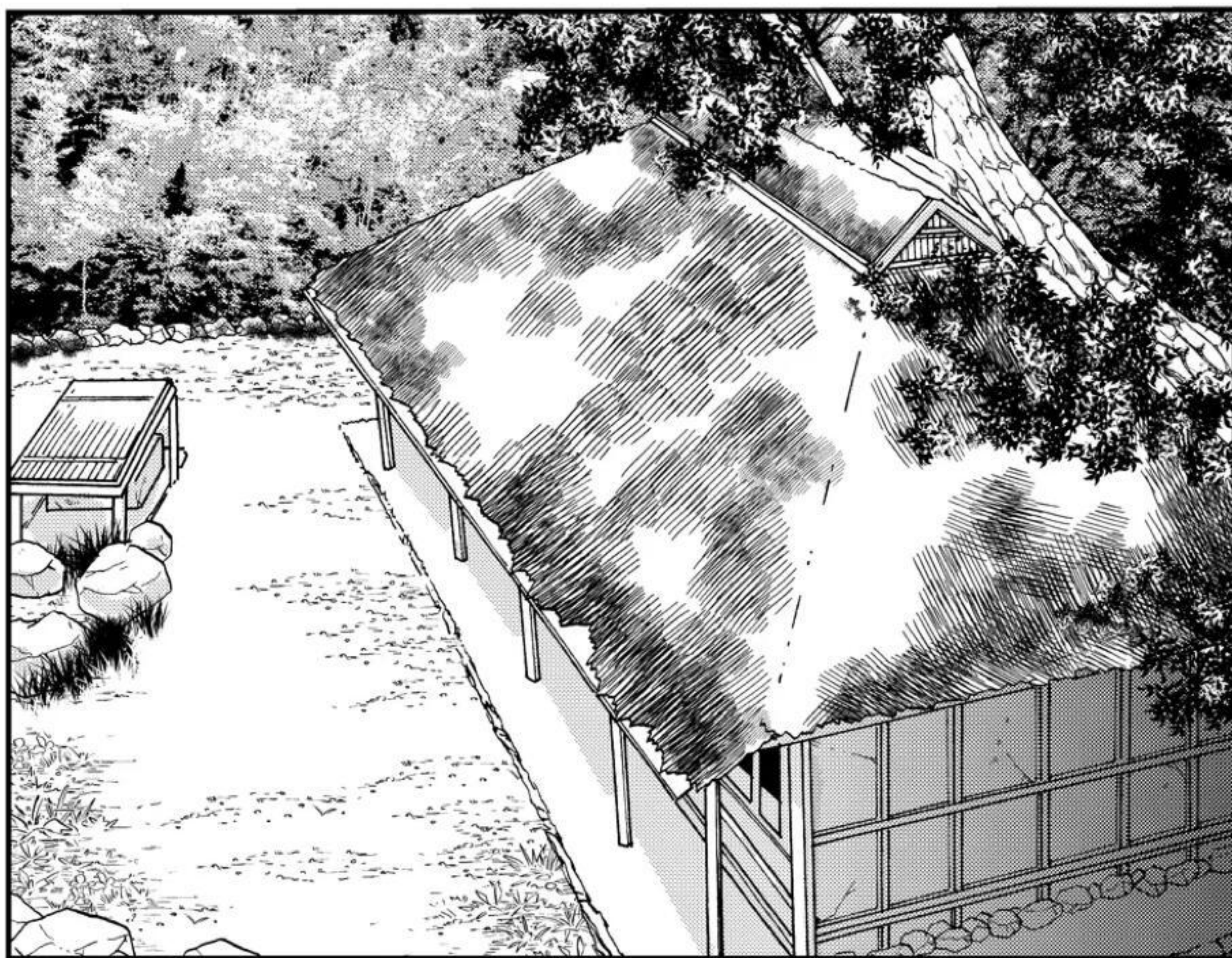
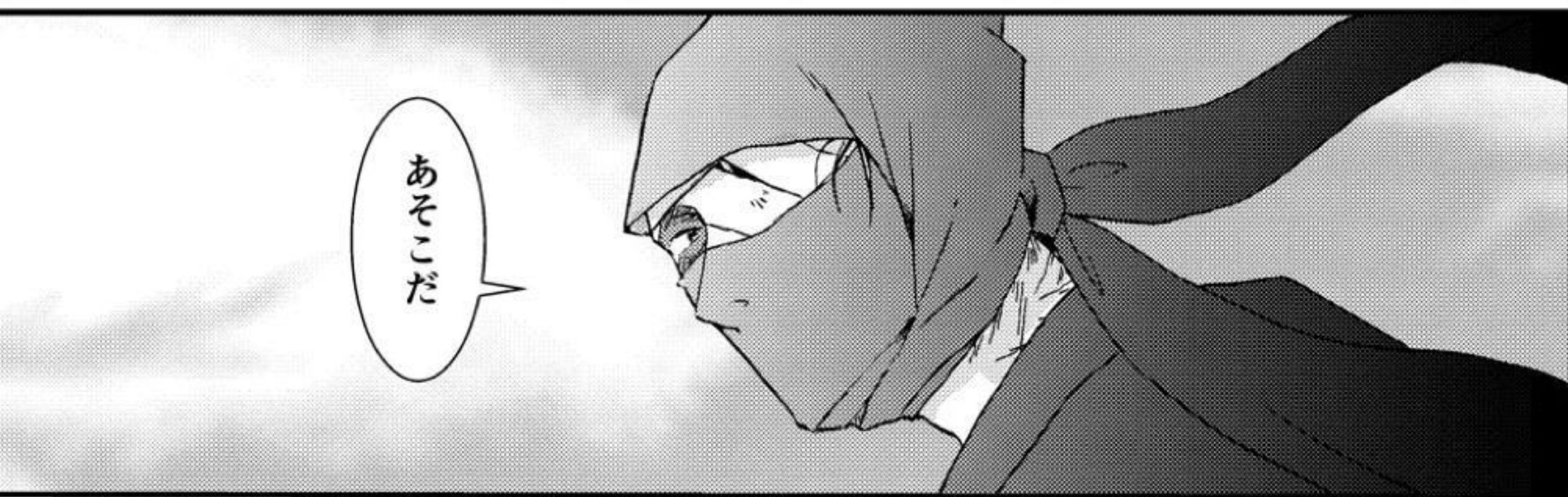
正直

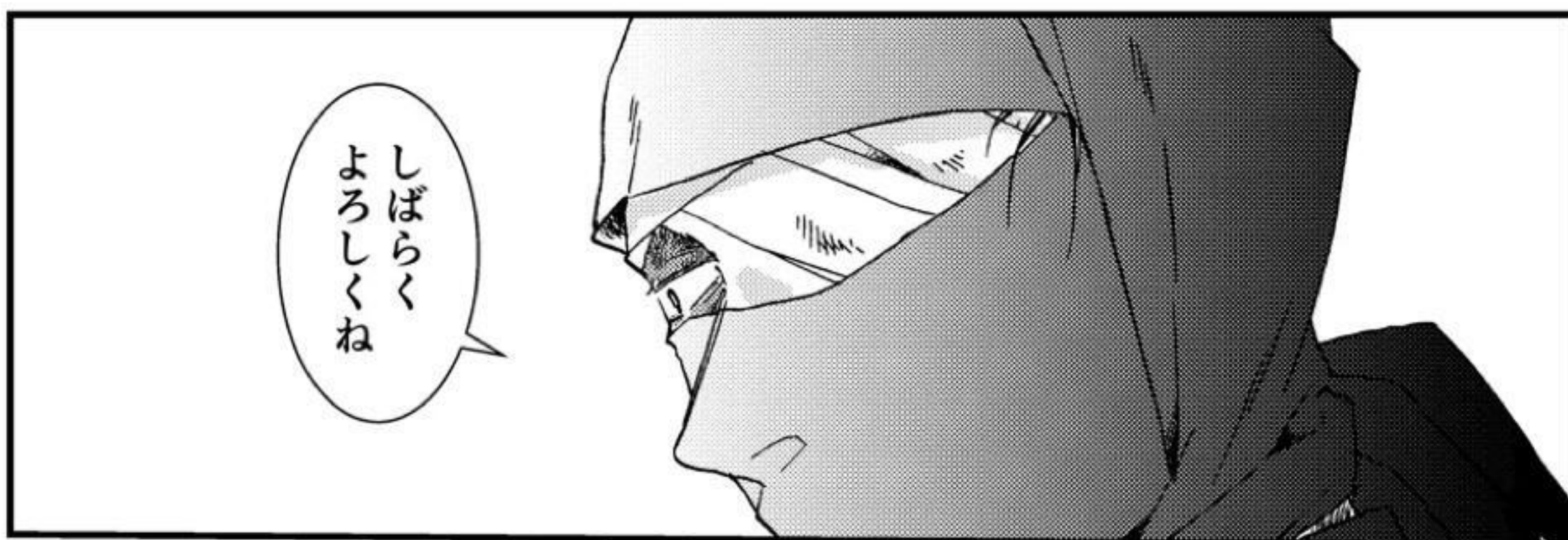
どうしたら
いいのか
わかりません



そう…









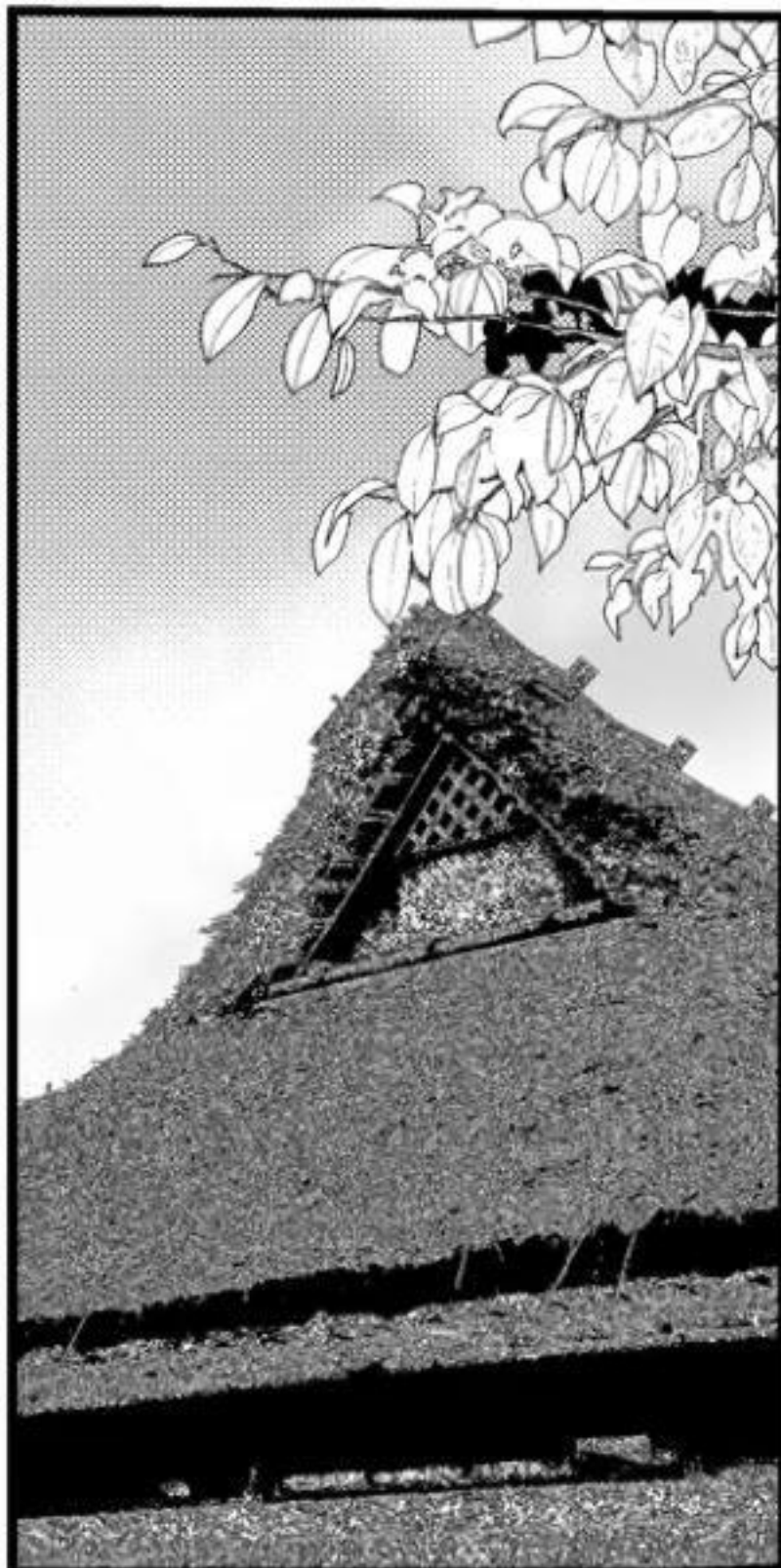


骨と

狼

後編















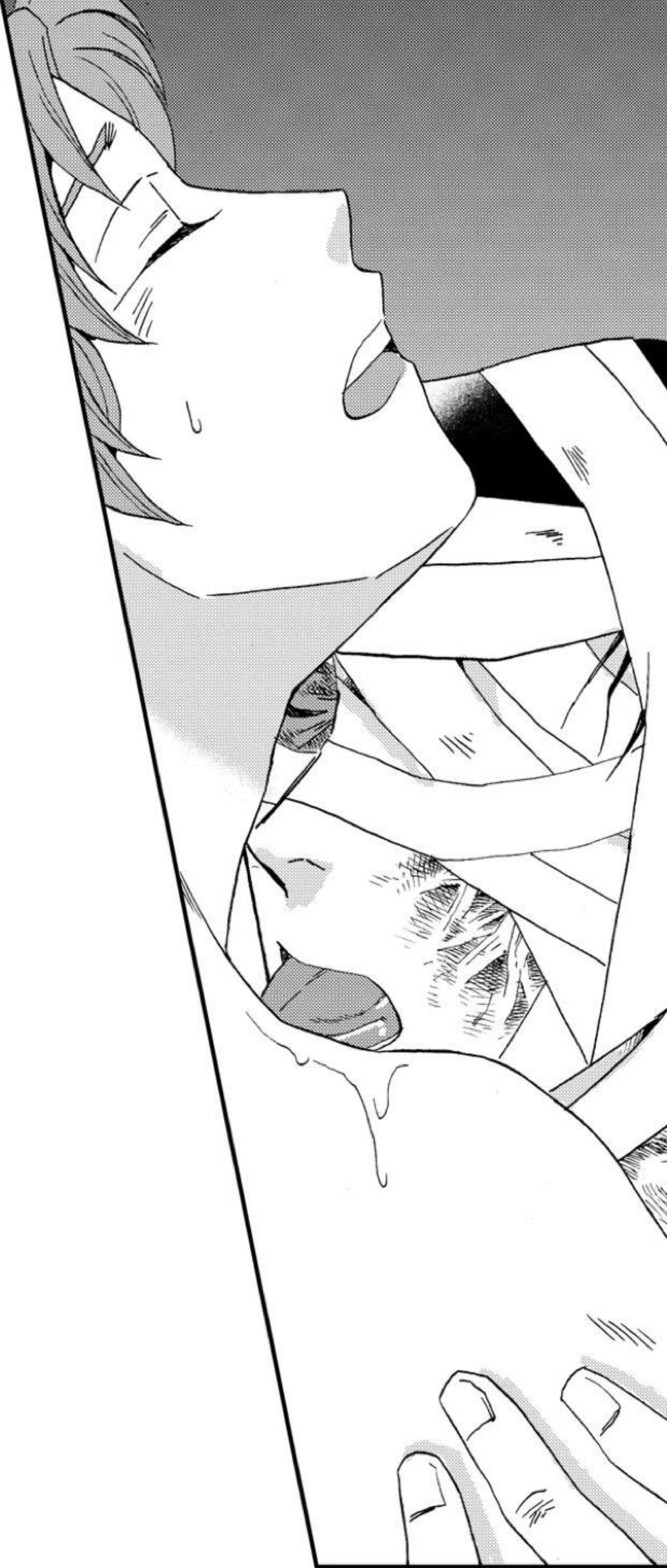
















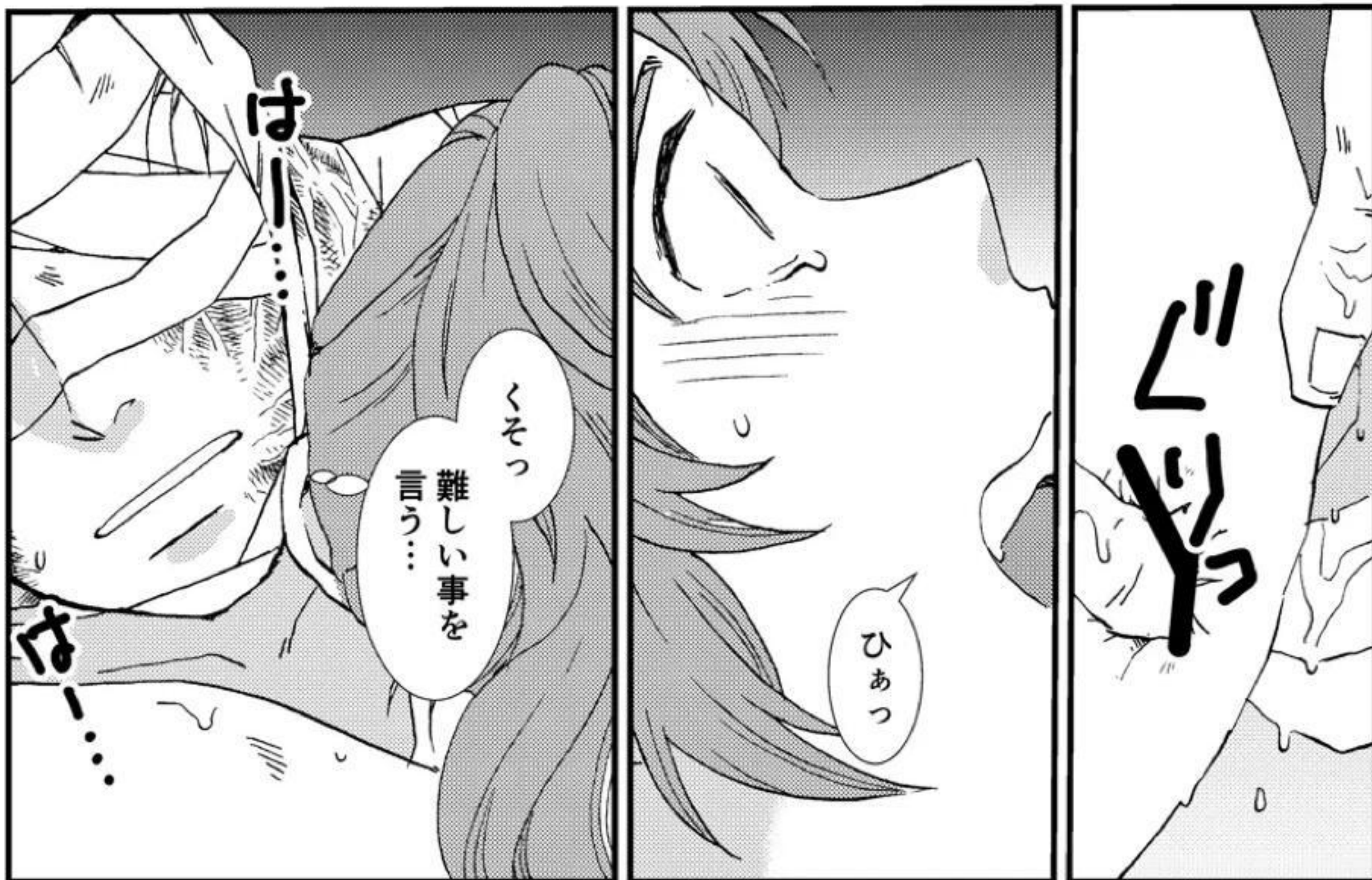
抽送は
出来れば
九浅一深を
心掛けていた
だけですが…

伊作くんの
求めに応じて
変えていただいても
構いません



あ
気を送る側は
常に冷静で
ある事が求めら
れます

これはやはり
雑渡殿にしか
出来ない事
なのです



くそっ
難しい事を
言う…

ひあつ



伊作くん
挿れるよ

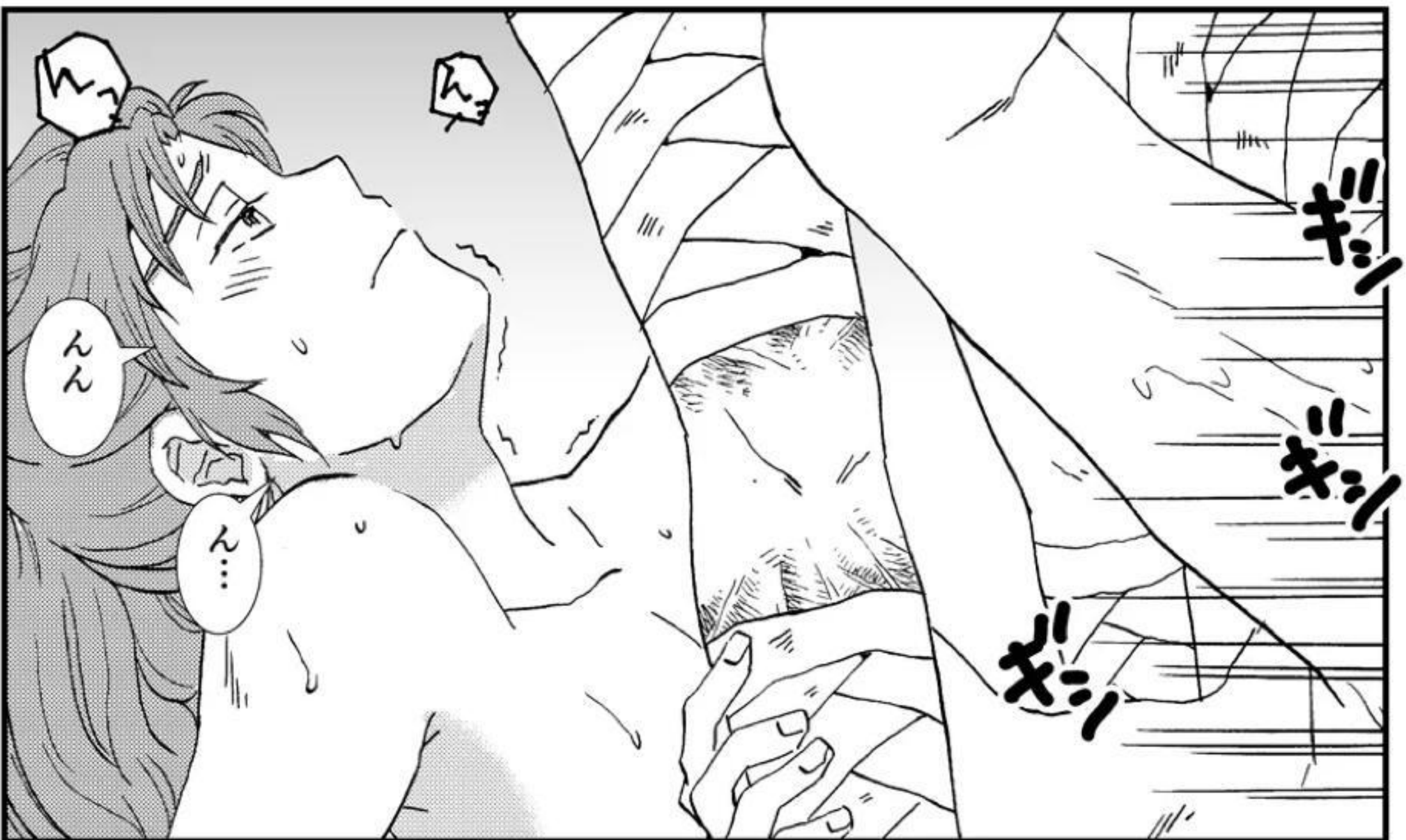
はあ...

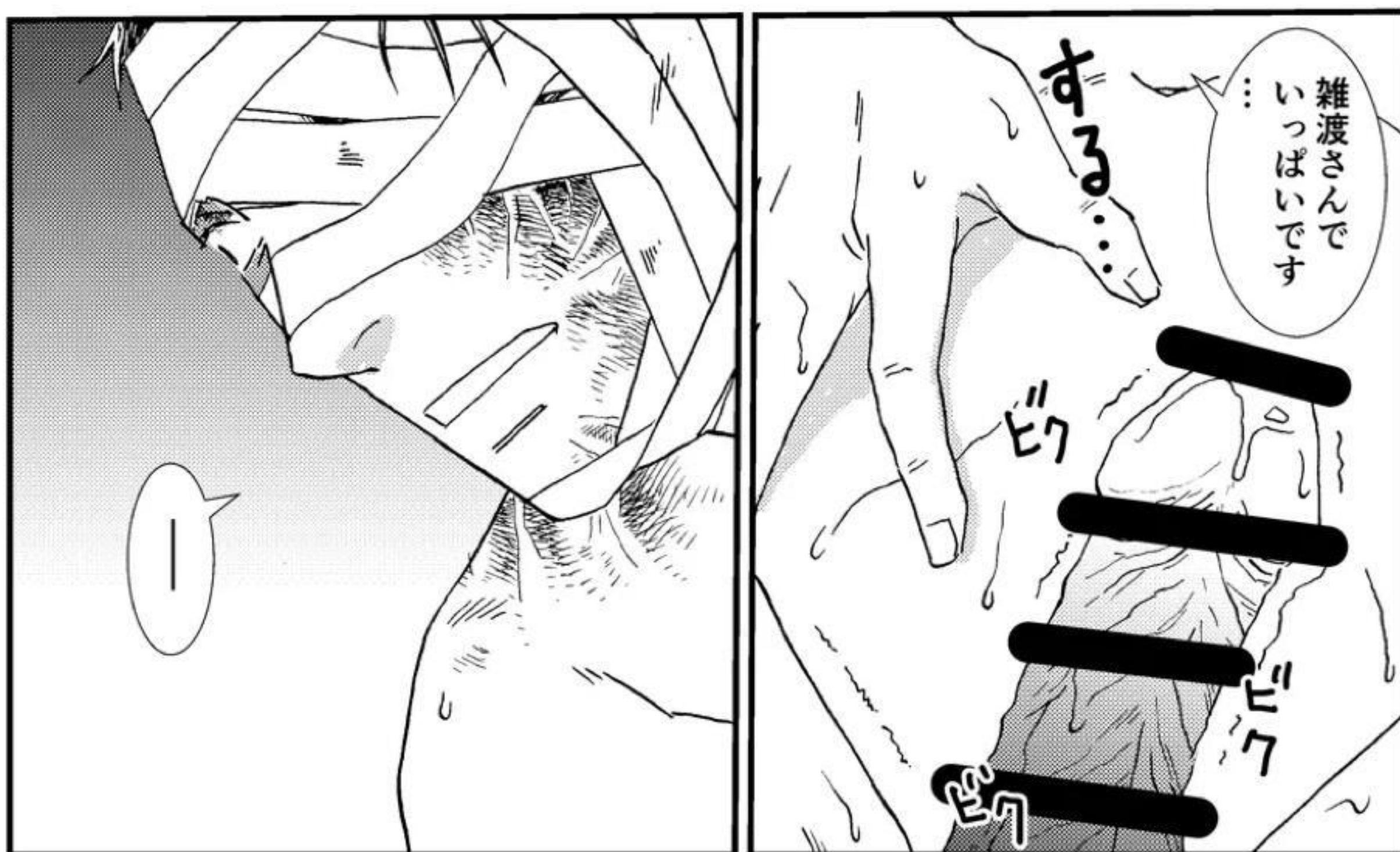


はっ

はっ

はい...







気を送る側は
常に冷静である
事を求められるが

快楽が――

ギン

ハア

ギン

ハア

んんっ

あっ

ギン

ん

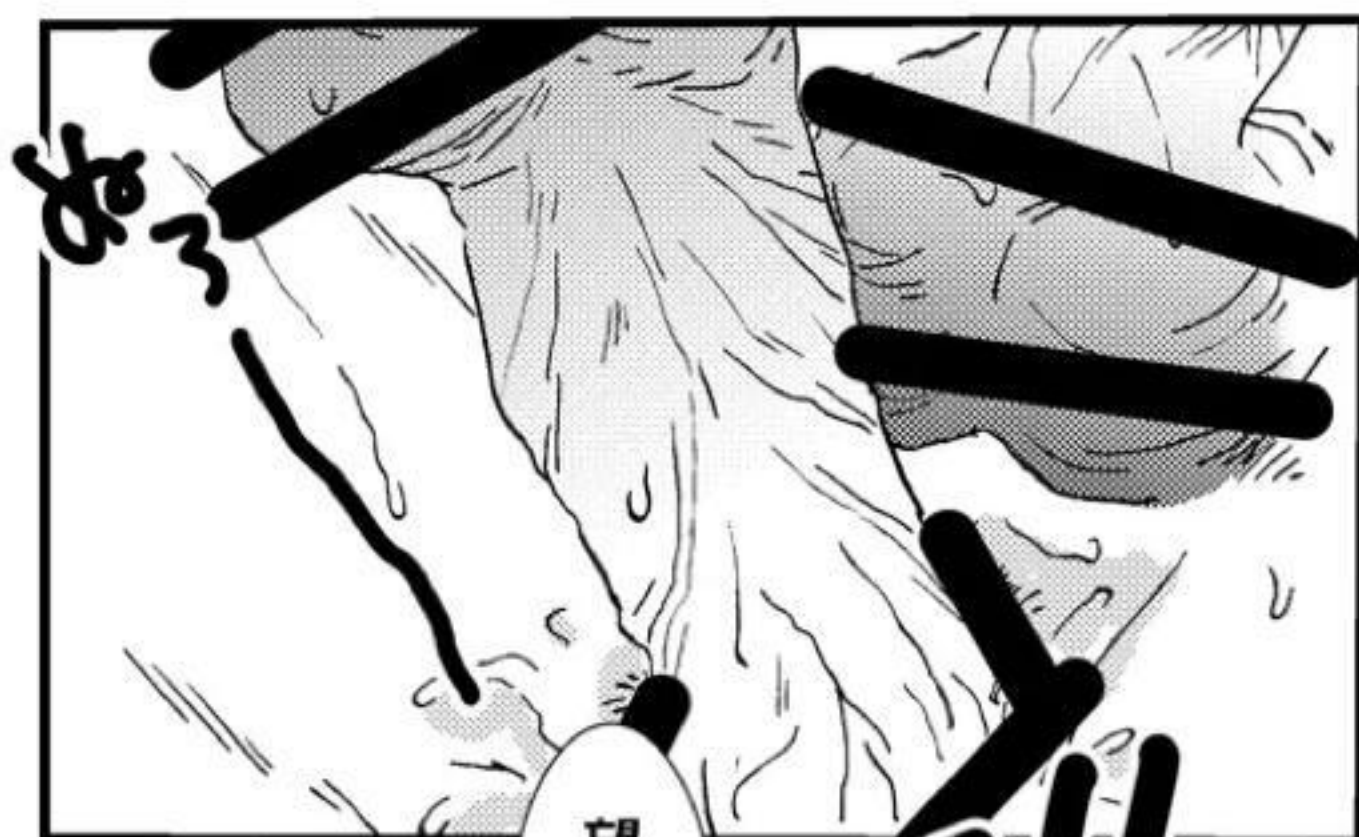
それを
受け取る側は
逆だ

パチュー

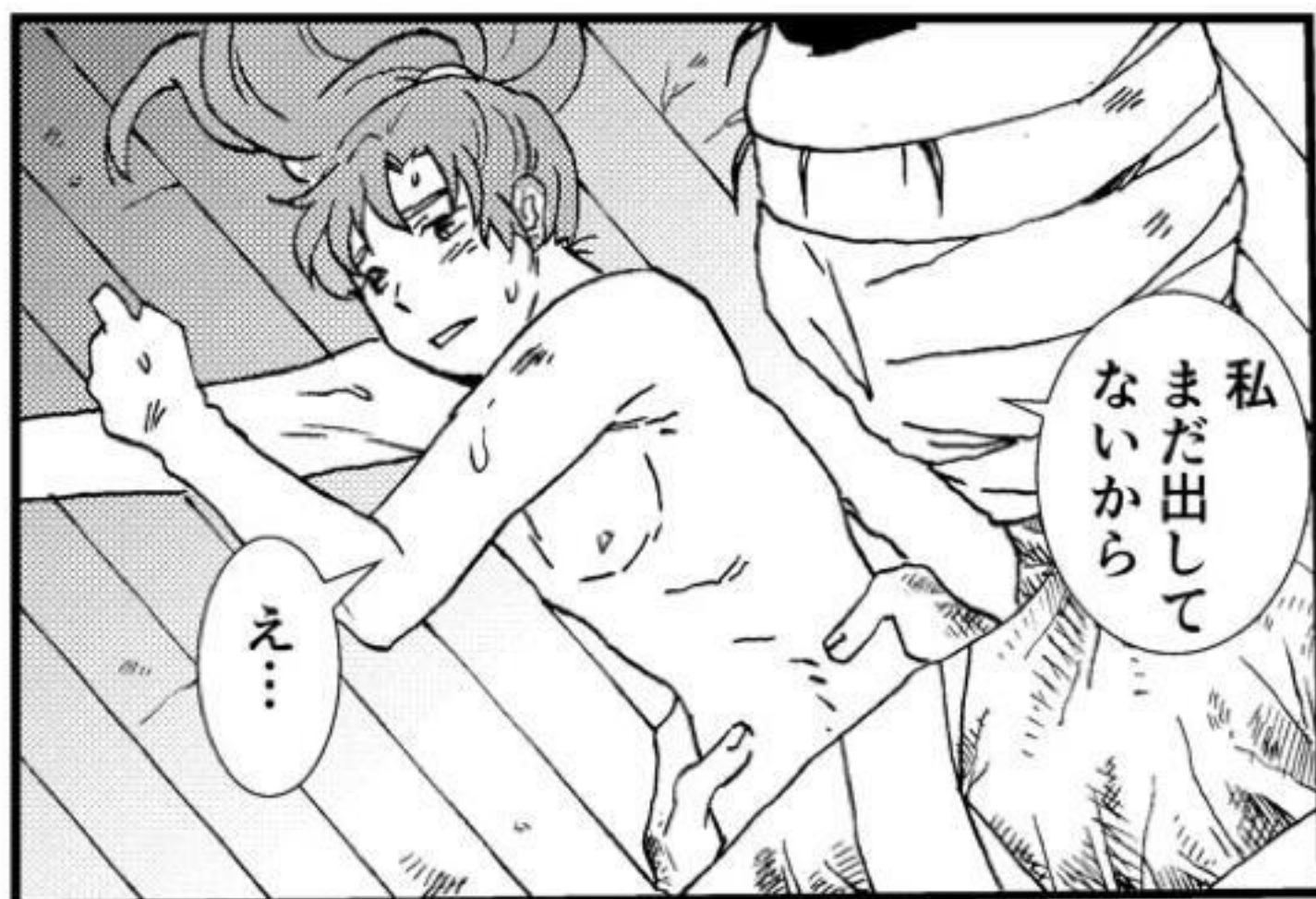
パチュー

パチュー

ああっ



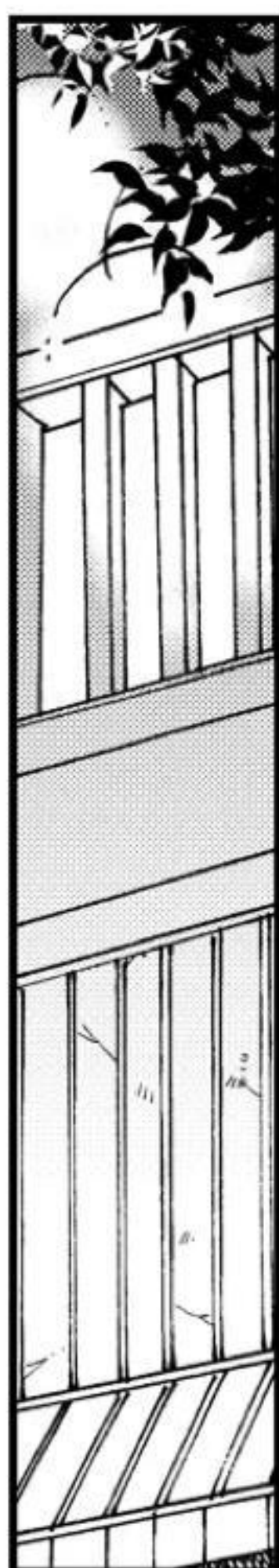


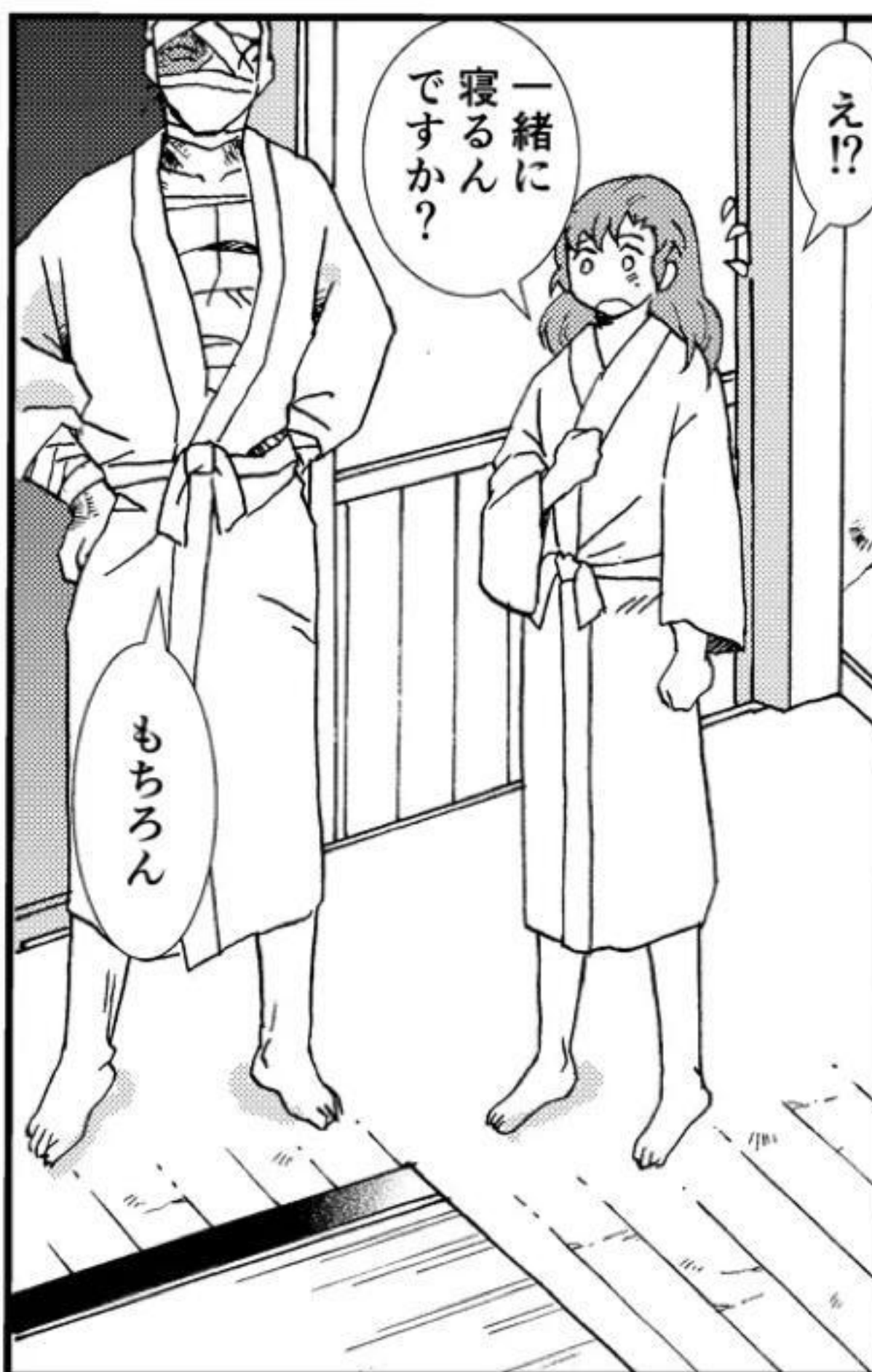
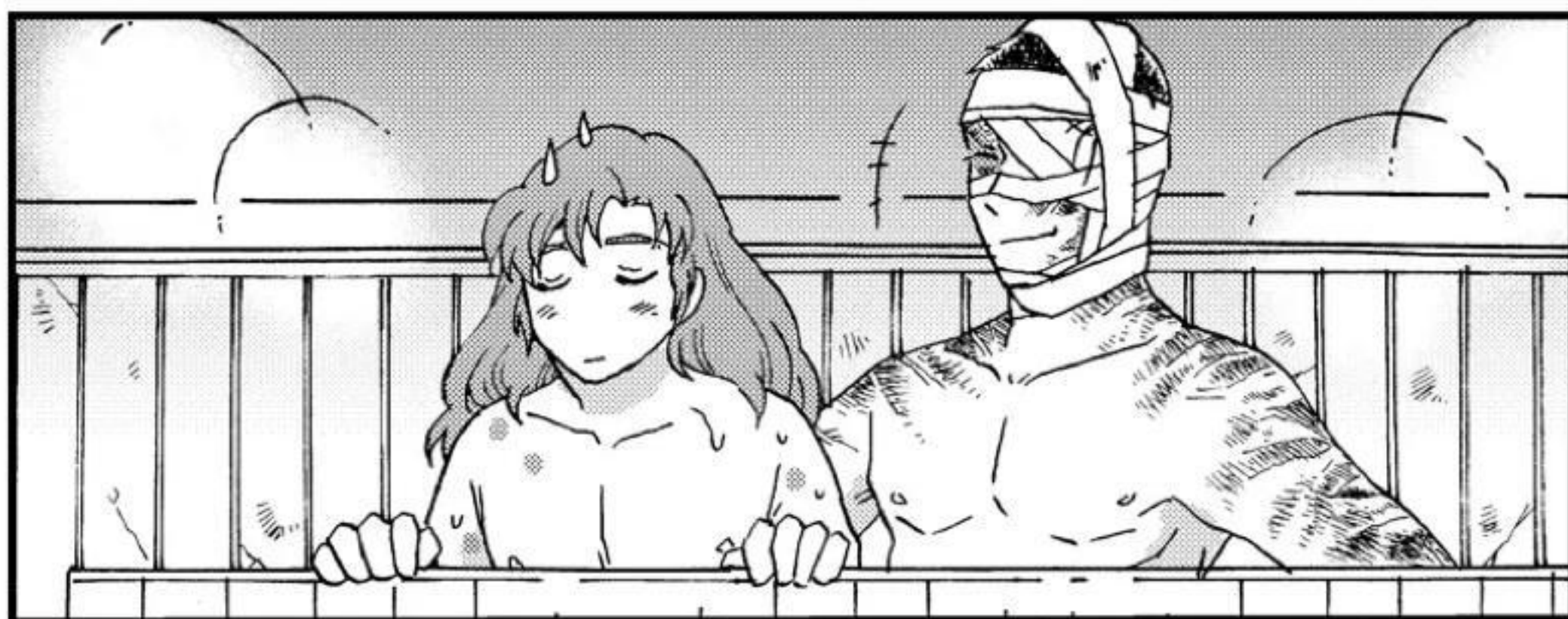


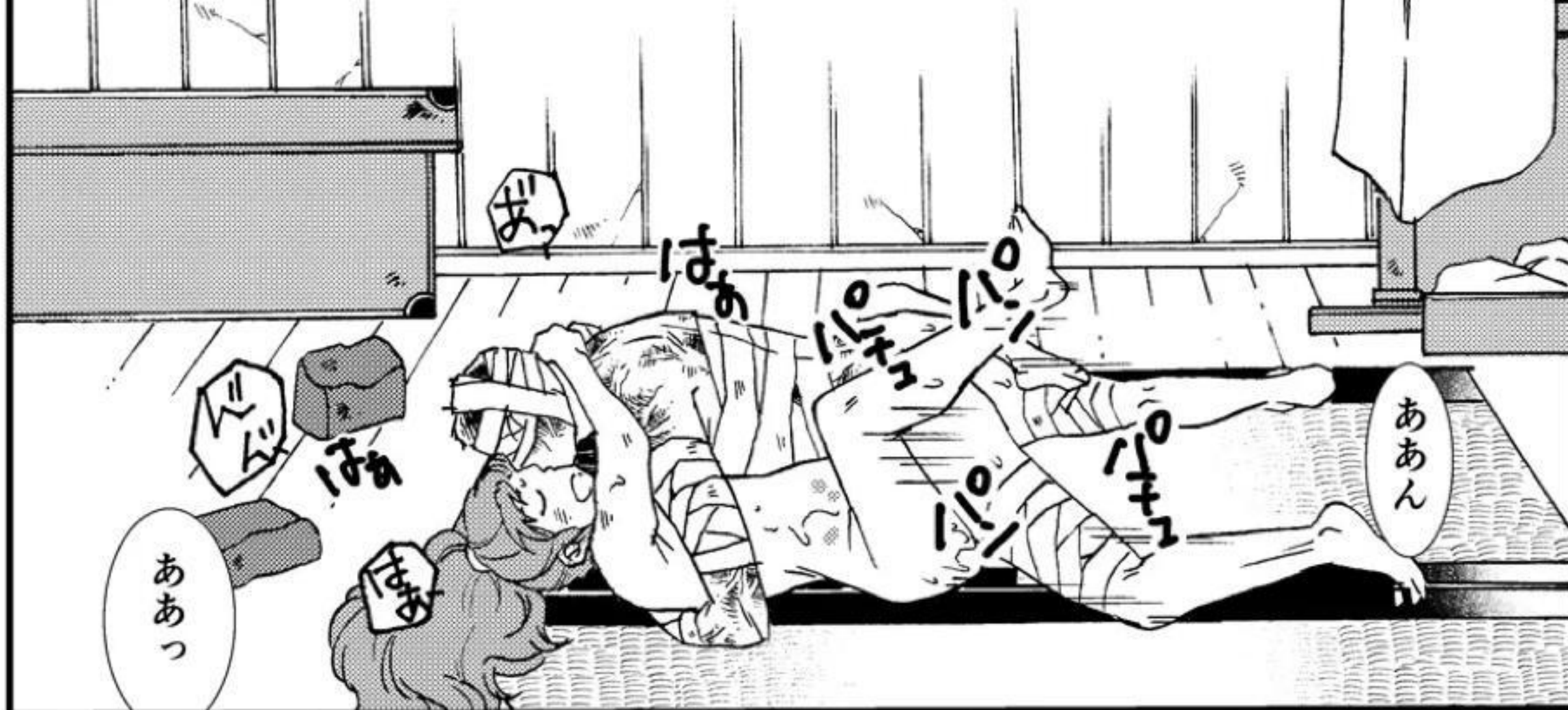




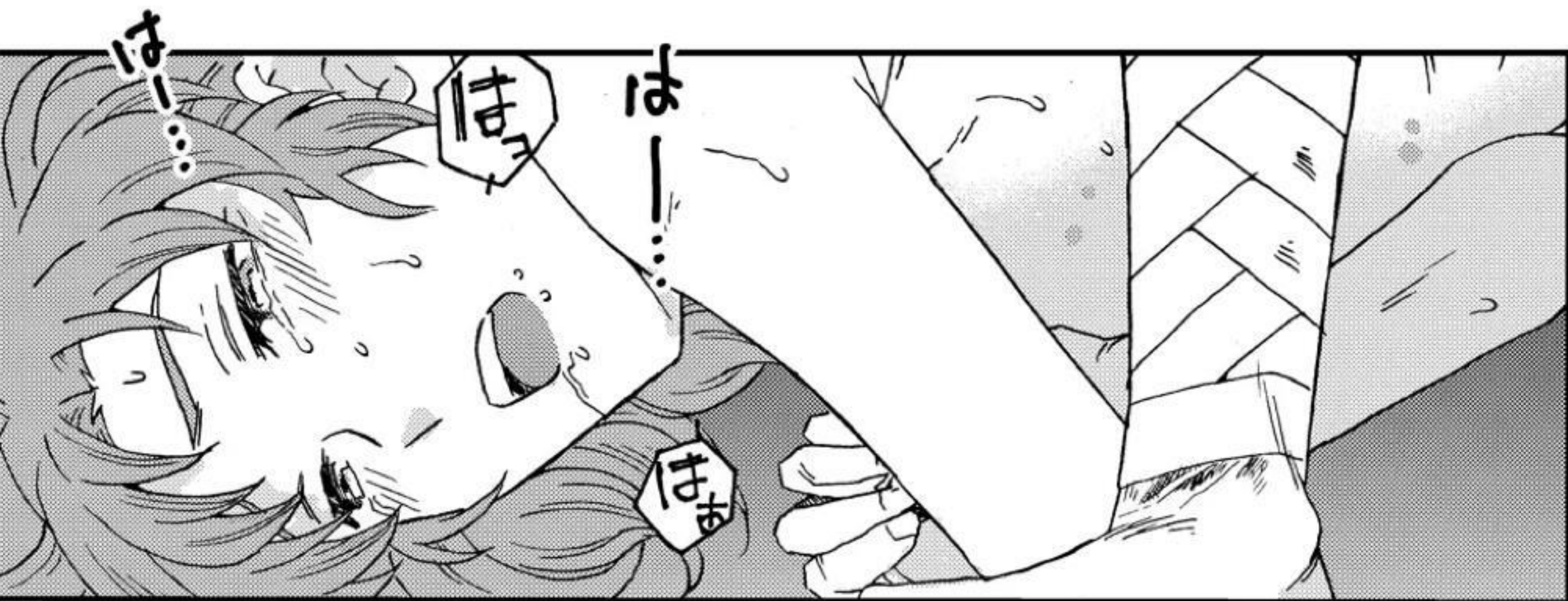


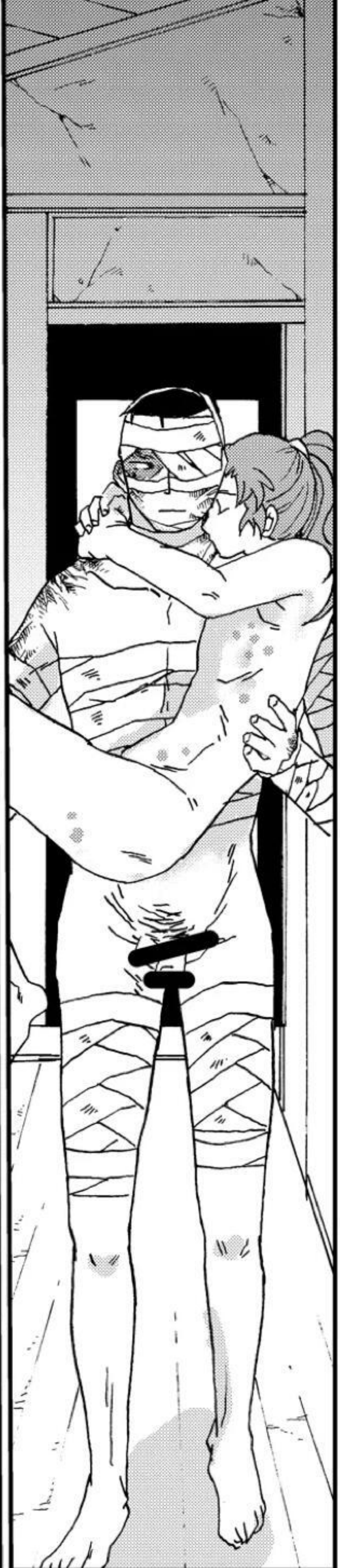


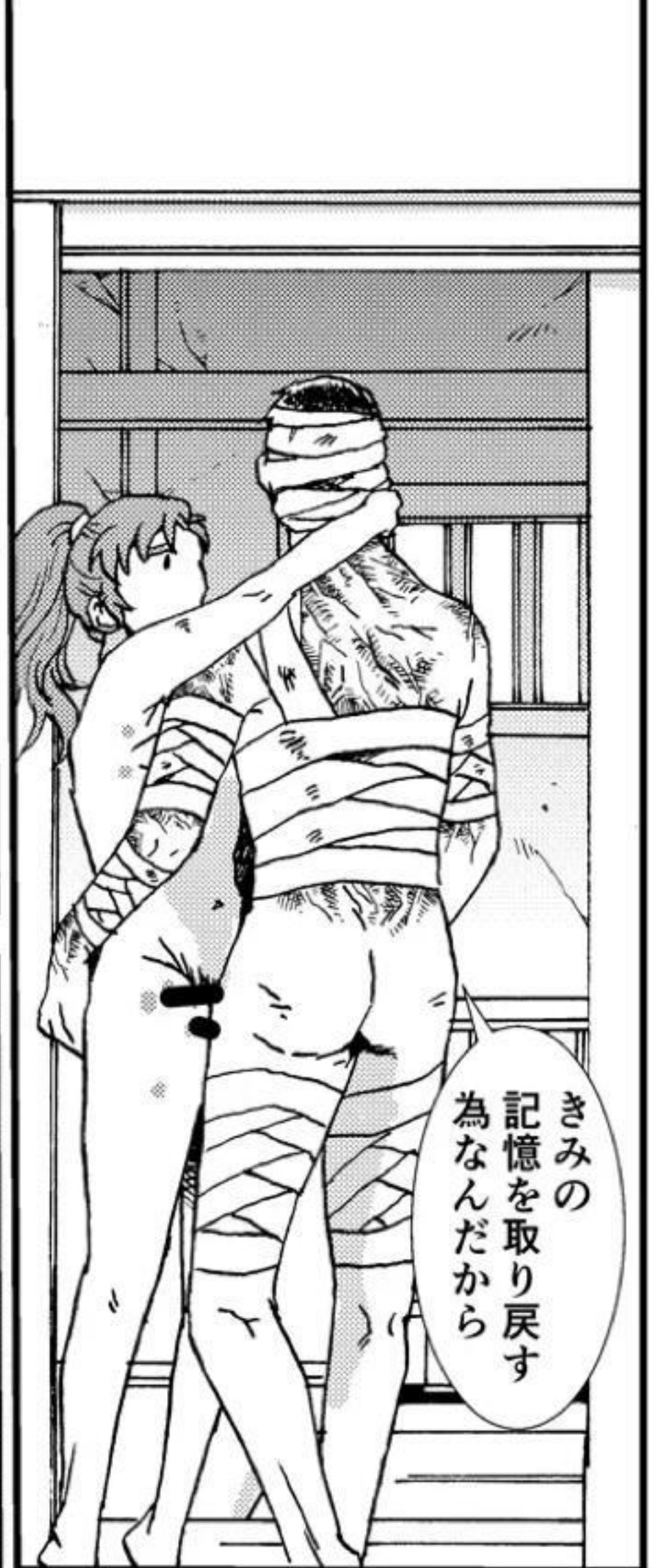
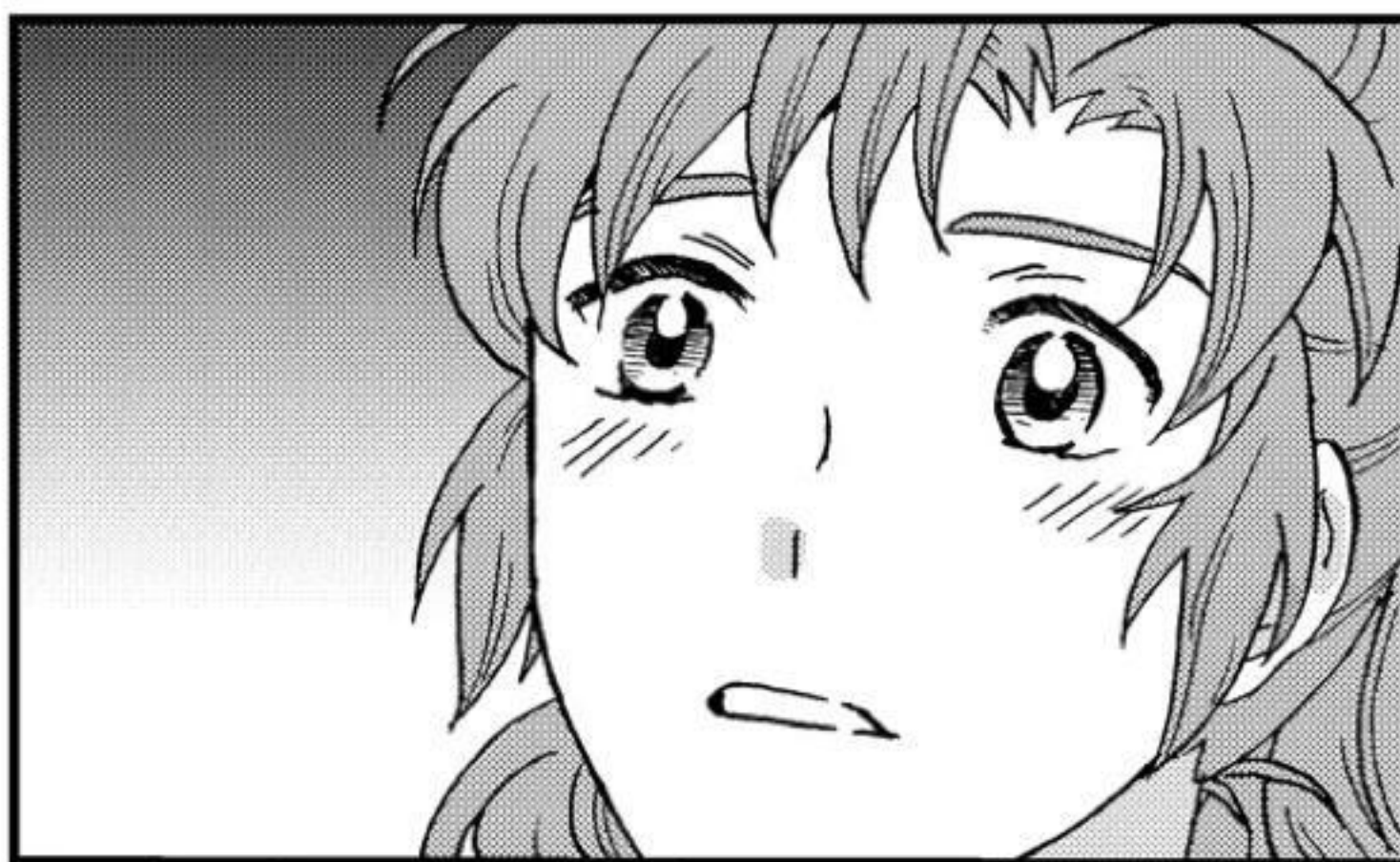








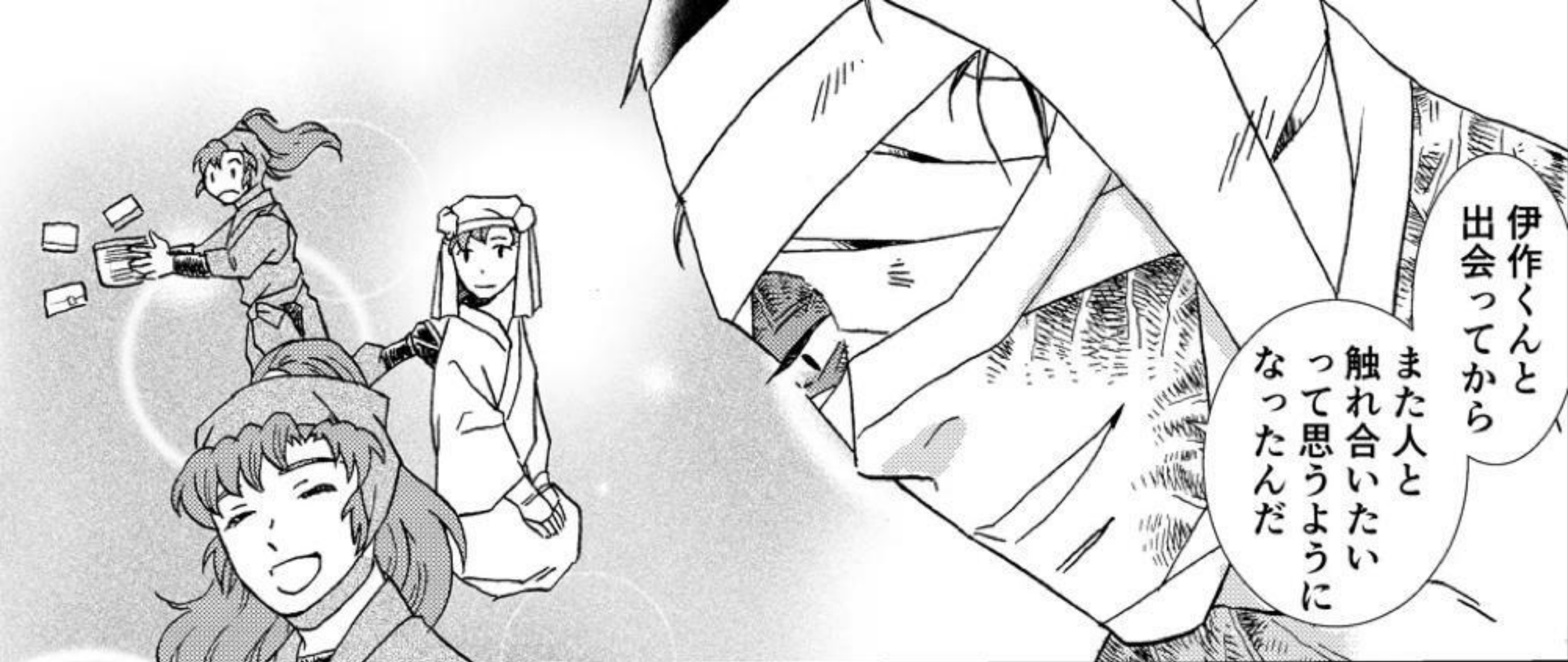














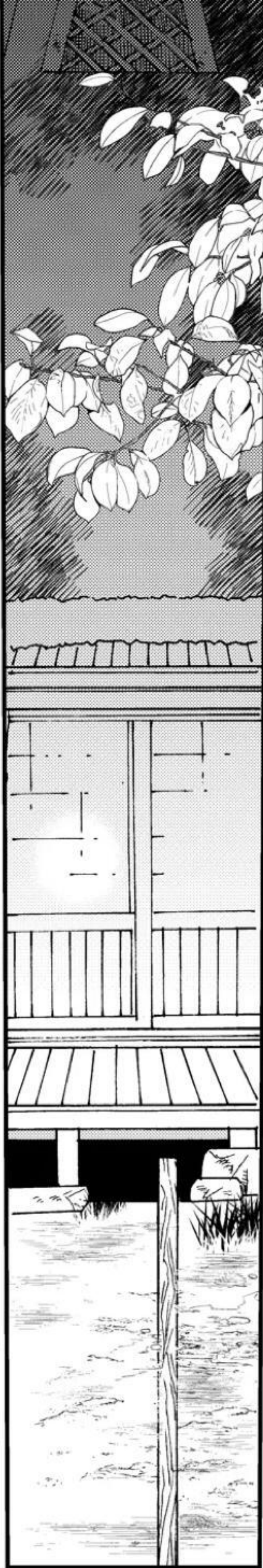


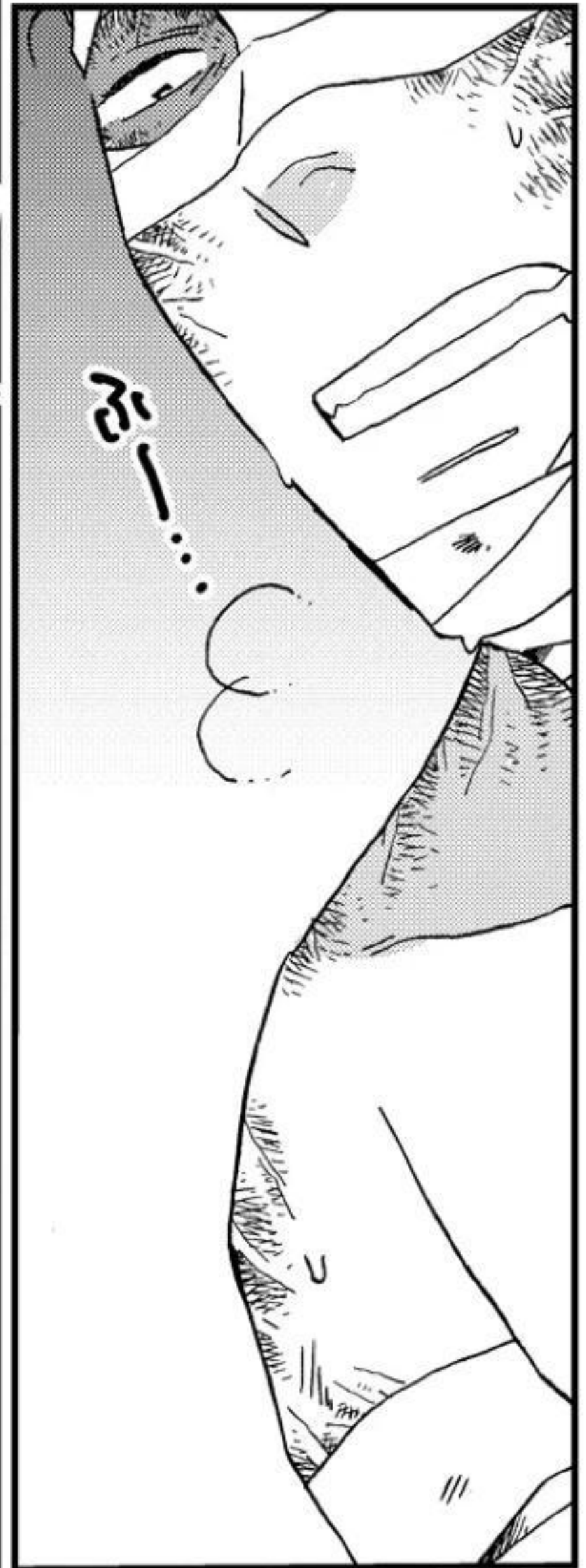






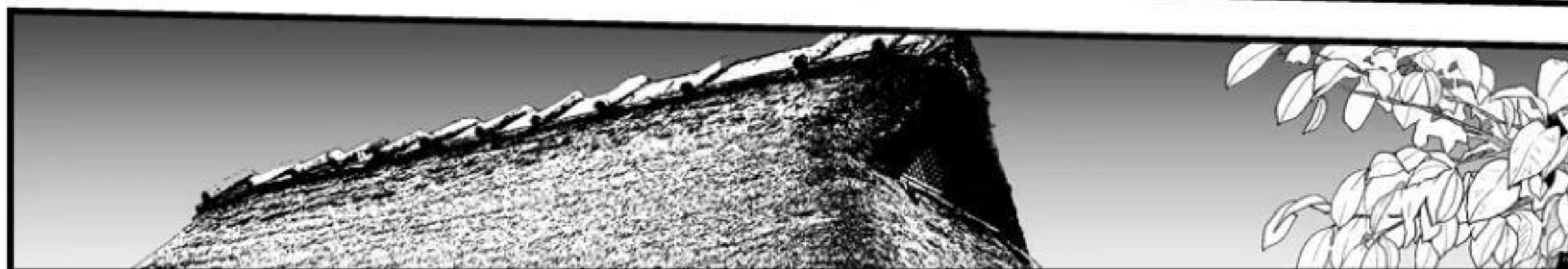
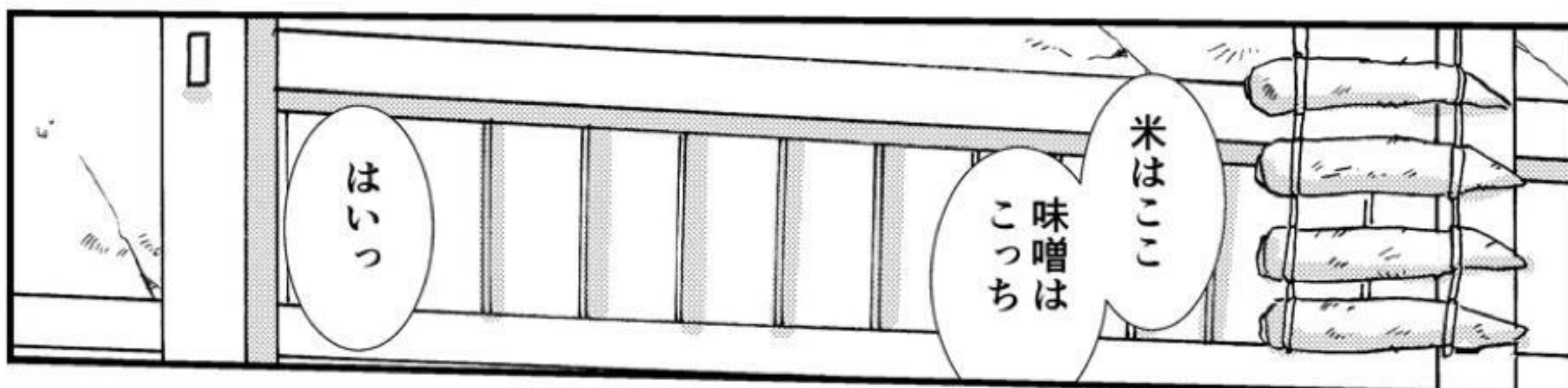
















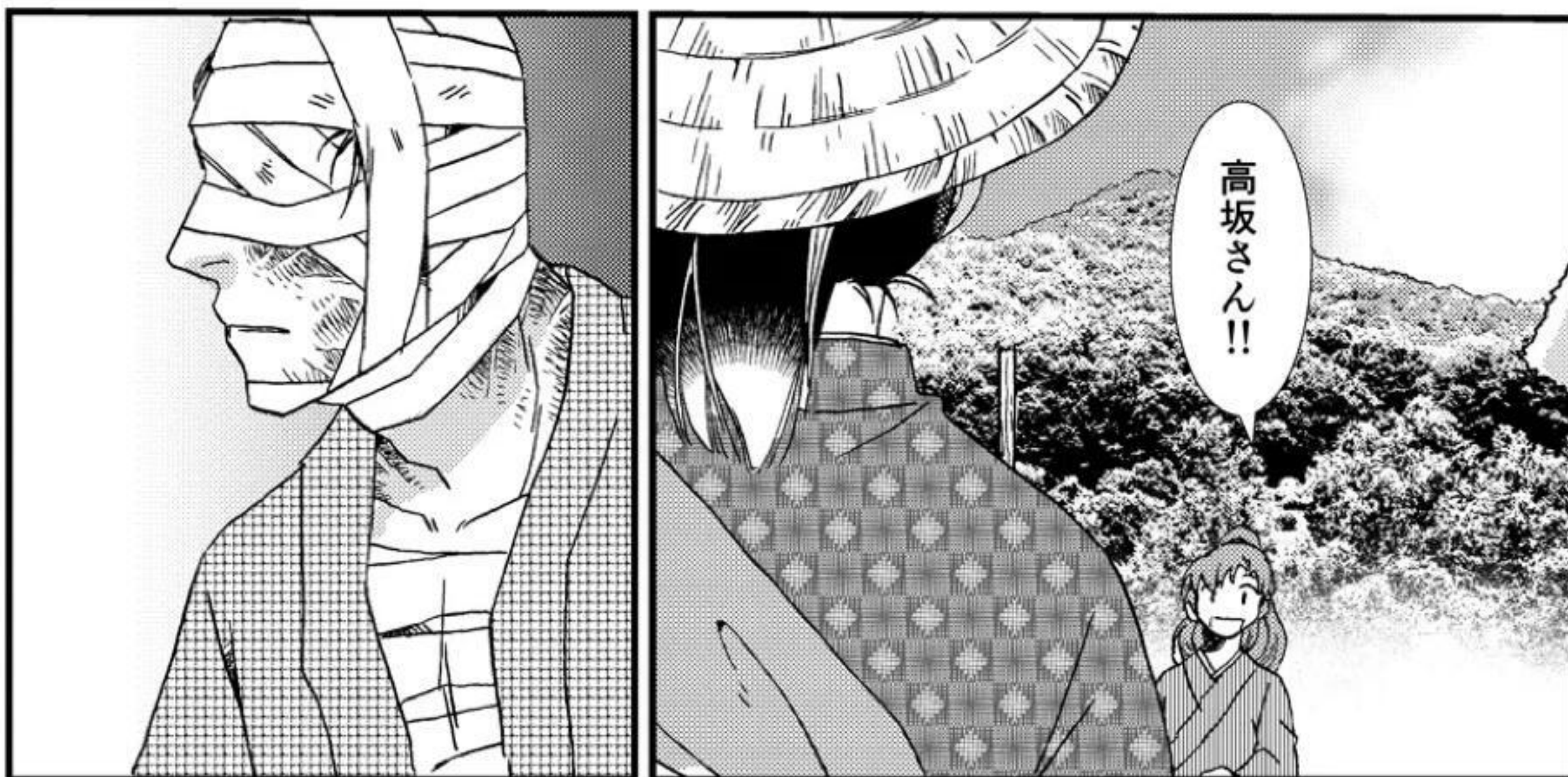
じゃあ
ぼくの記憶が
戻ったら
雑渡さんの休暇も
終わり…？

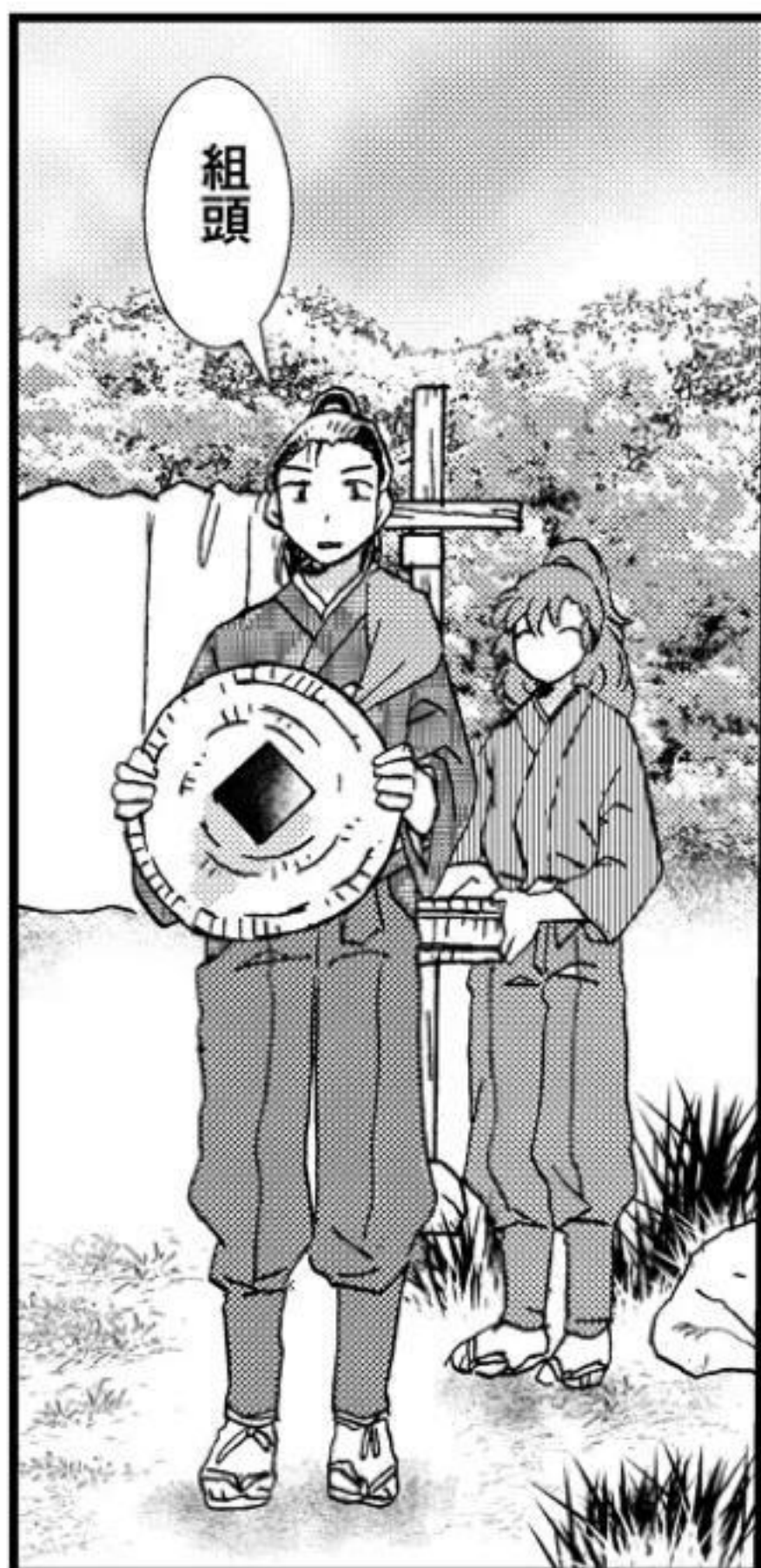


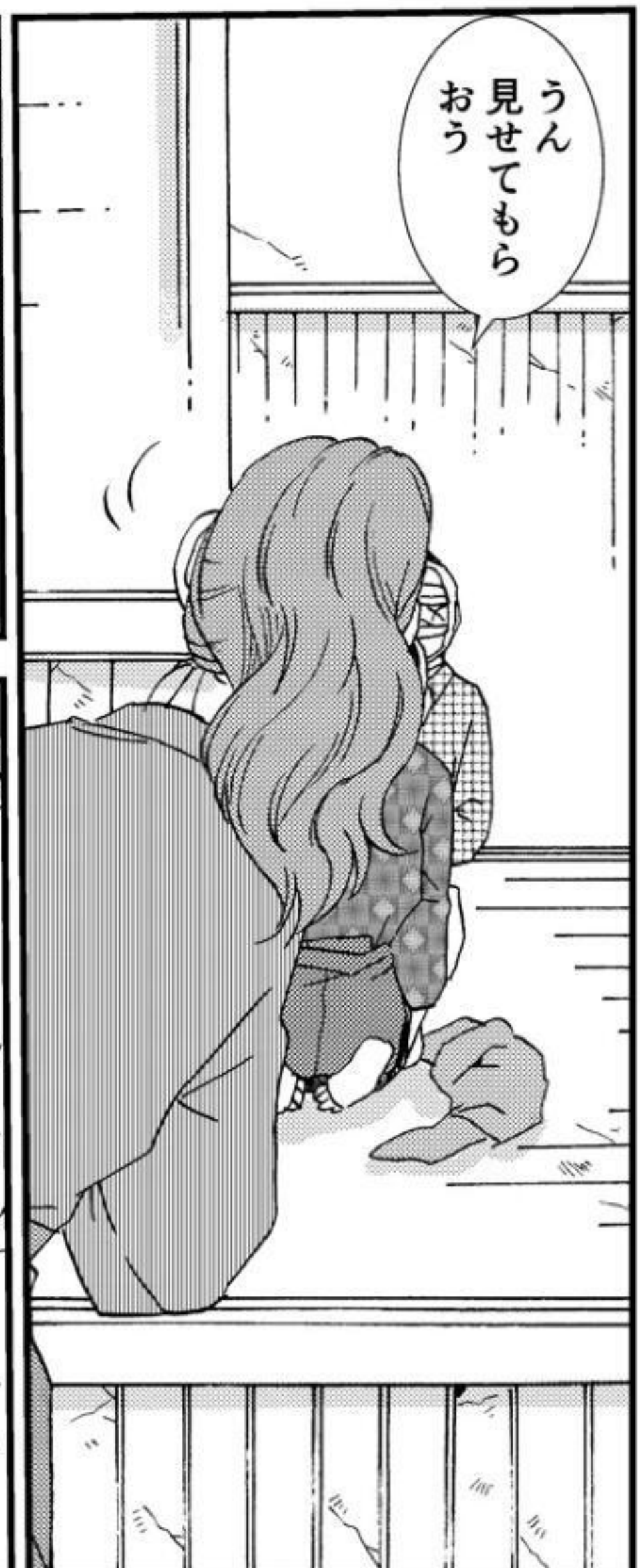
そうだねえ…

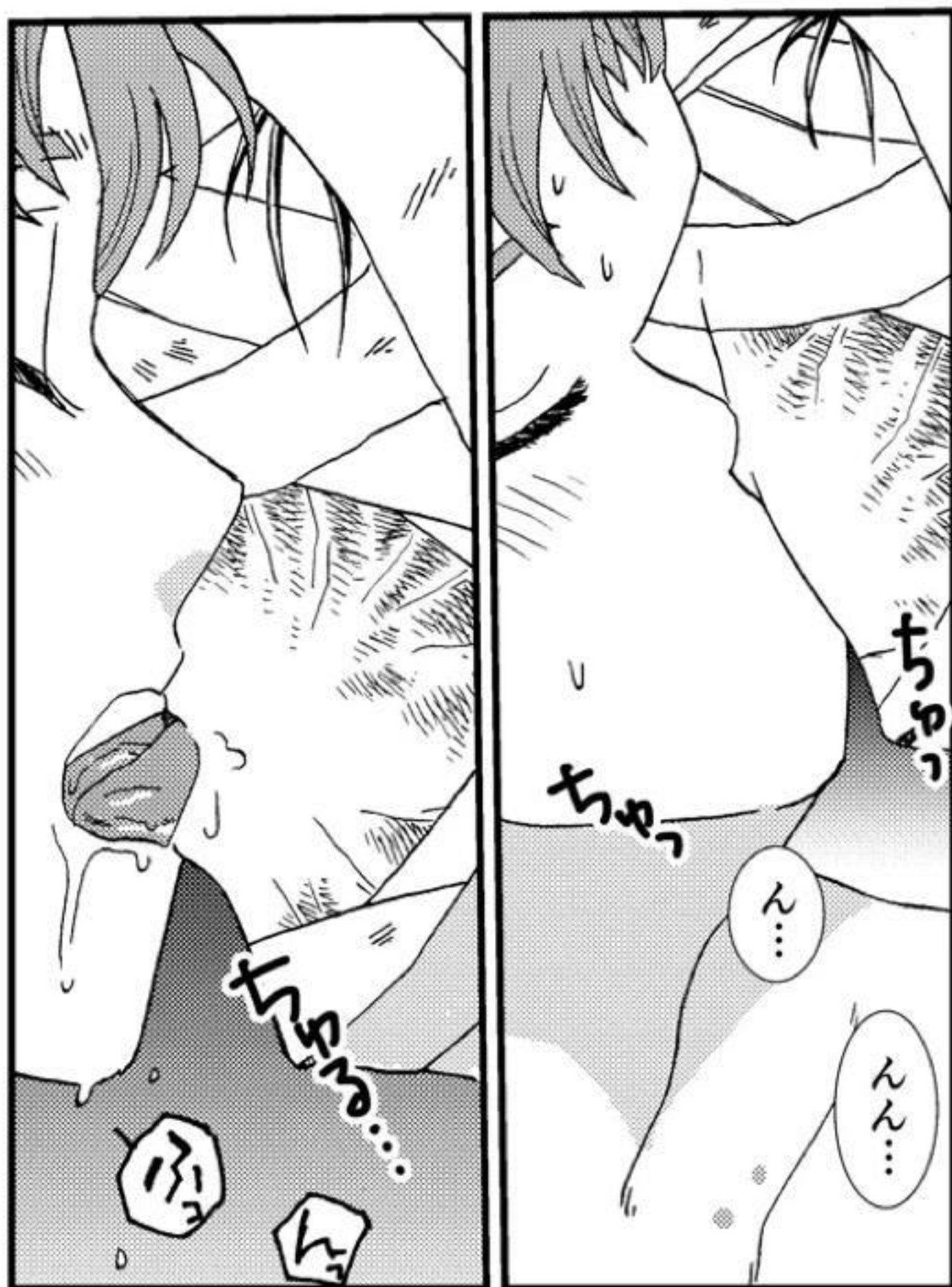
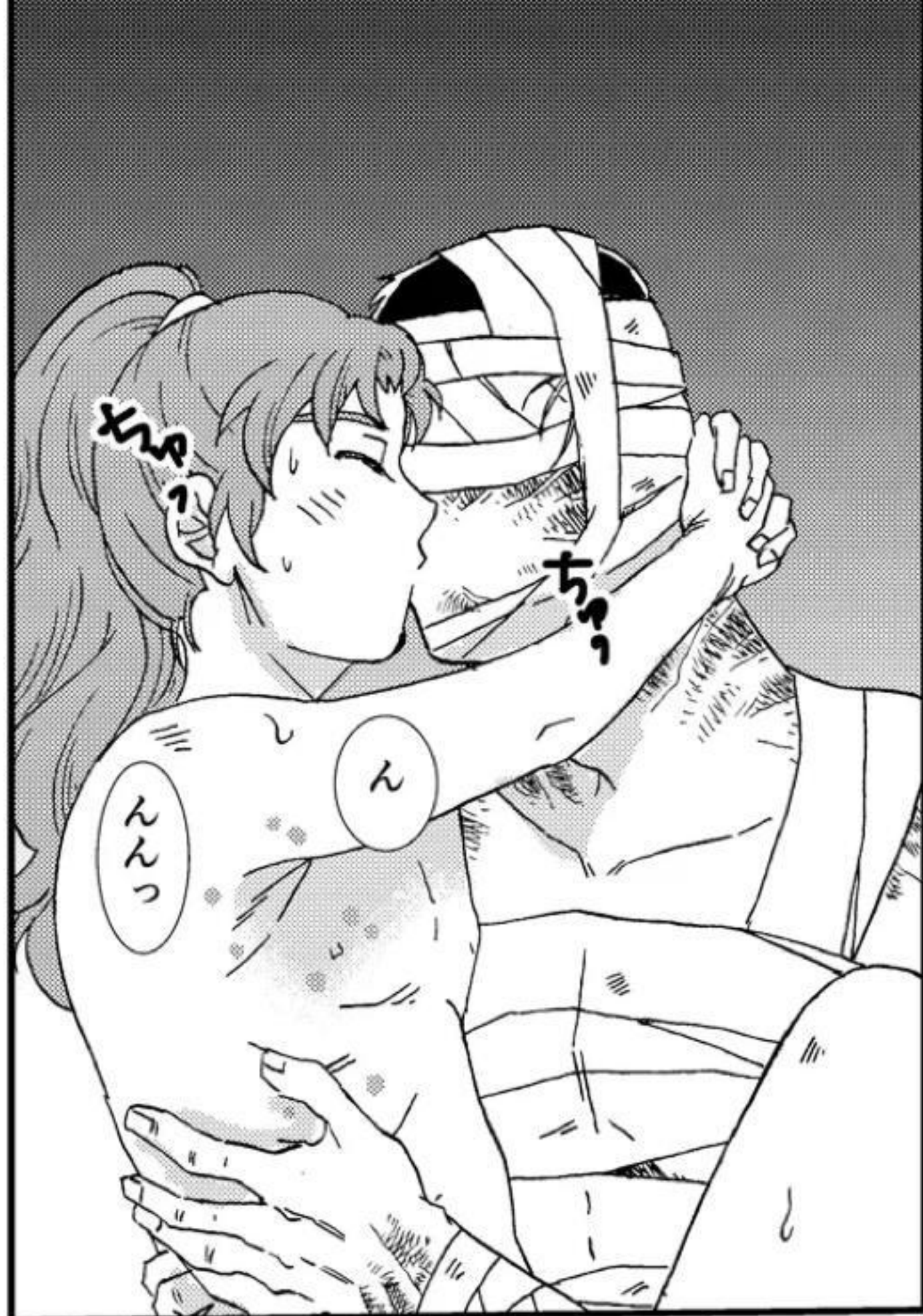


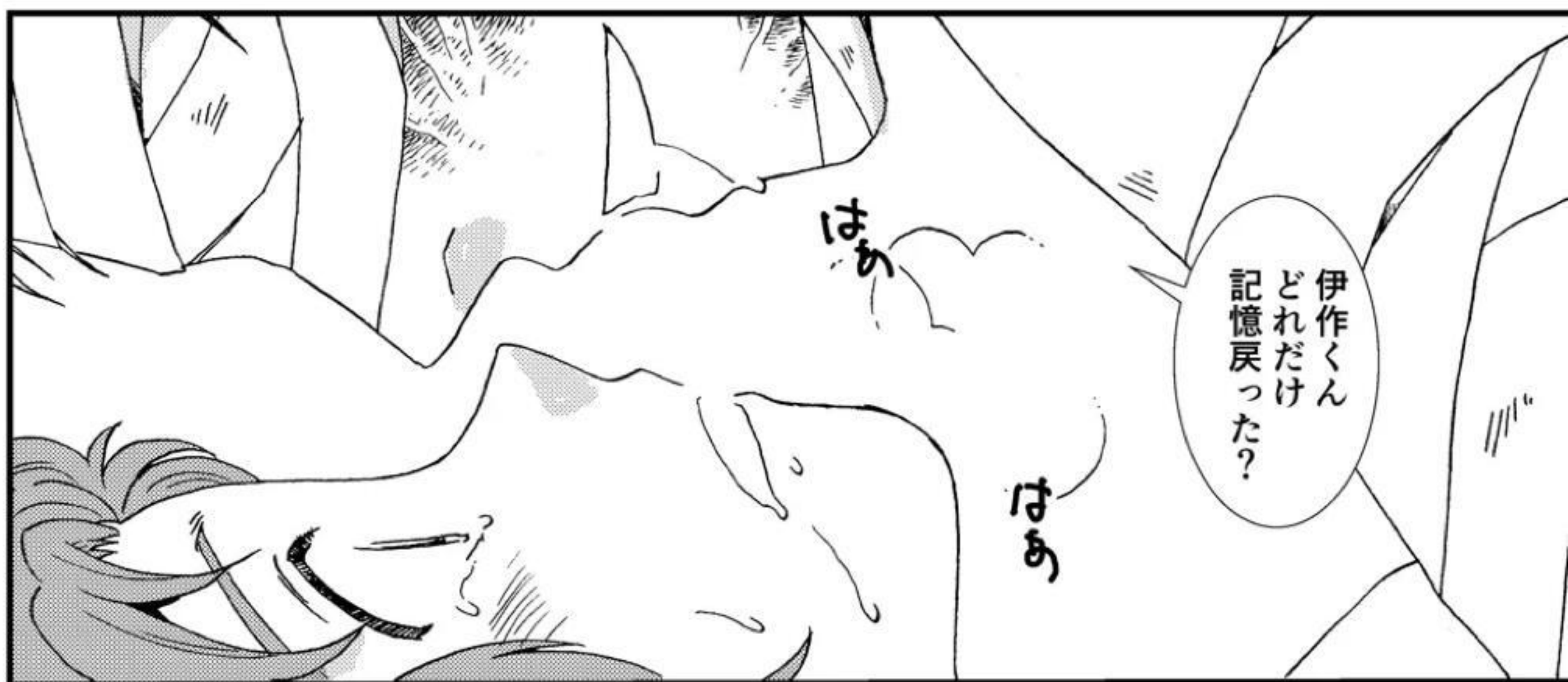
ずっと
このままここで
過ごすのも
悪くないなあ

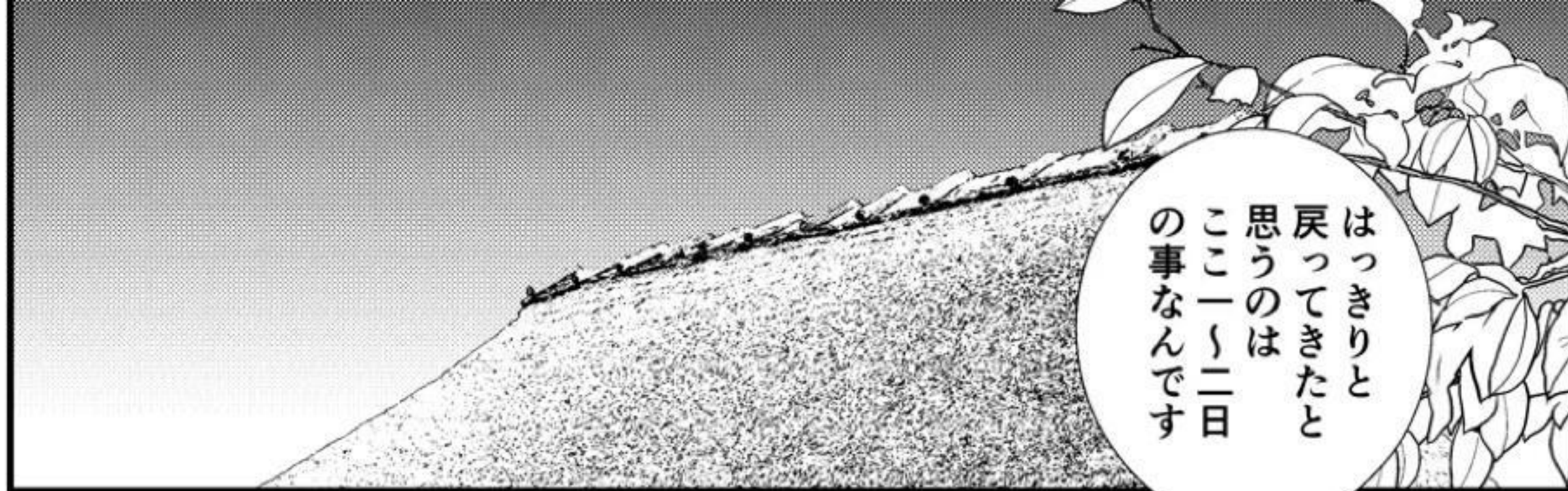




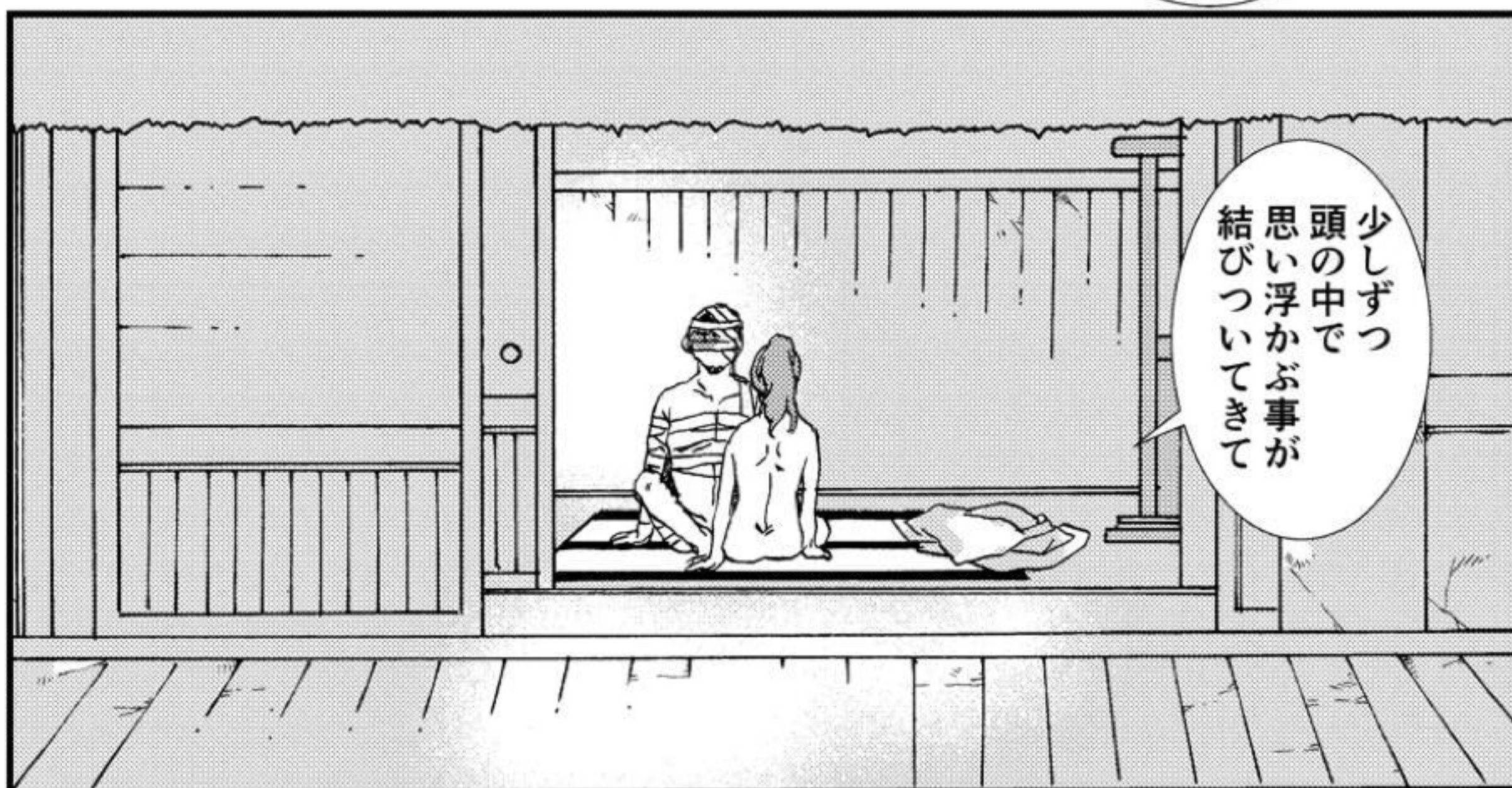








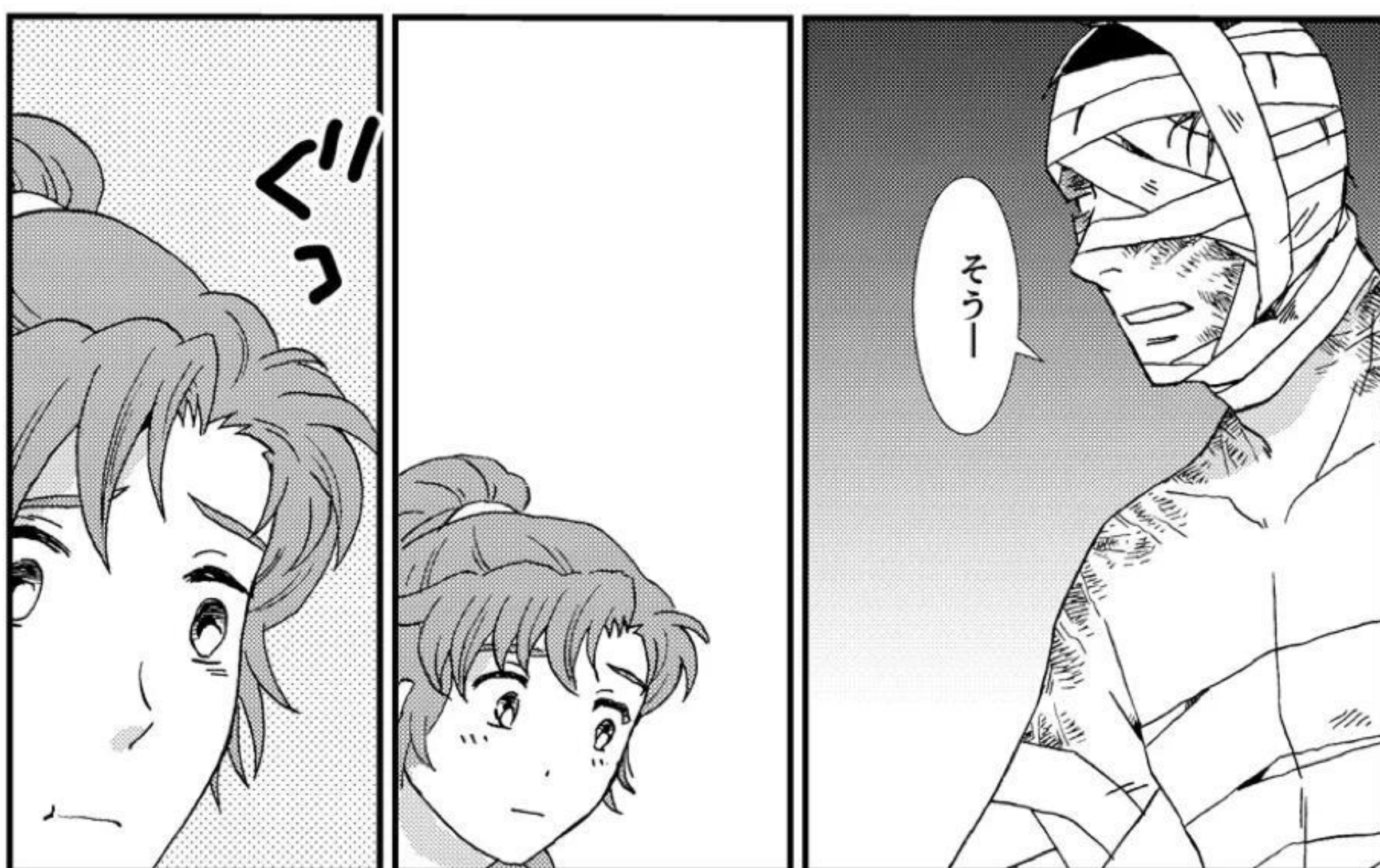
はっきりと
戻ってきたと
思うのは
ここ一、二日
の事なんです



少しずつ
頭の中で
思い浮かぶ事が
結びついてきて



だけど
ぼくは……







明日朝一番で
陣左を学園に
走らせるから



でも
今すぐじゃ
なくてもいいか
らさ



最後に
今夜も抱いて
ください



...



きみは
ゆっくり荷造りして
それから向かえば

